

大間原子力発電所

敷地の地質・地質構造

(コメント回答 その13)

(後期更新世に生じた変状に関わる
ボーリングコアの地質柱状図及びコア写真)

2021年6月25日

電源開発株式会社

○ 「第615回審査会合」及び「第646回審査会合」での誤記に関わる対応を踏まえ、本資料にて過去の審査会合資料を引用する際の注記を下記のとおりとする。

・ 右上の注記

再掲：過去の審査会合資料を、そのまま引用する場合

一部修正：過去の審査会合資料の内容を、一部修正する場合

誤りを修正：過去の審査会合資料の誤りを、正しい記載とする場合

・ 左下の注記

修正した誤りの内容を記載（誤りの修正がある場合）

目次



1. ボーリング調査位置図	2
2. 地質柱状図凡例	3
3. 地質柱状図	4
4. コア写真	61

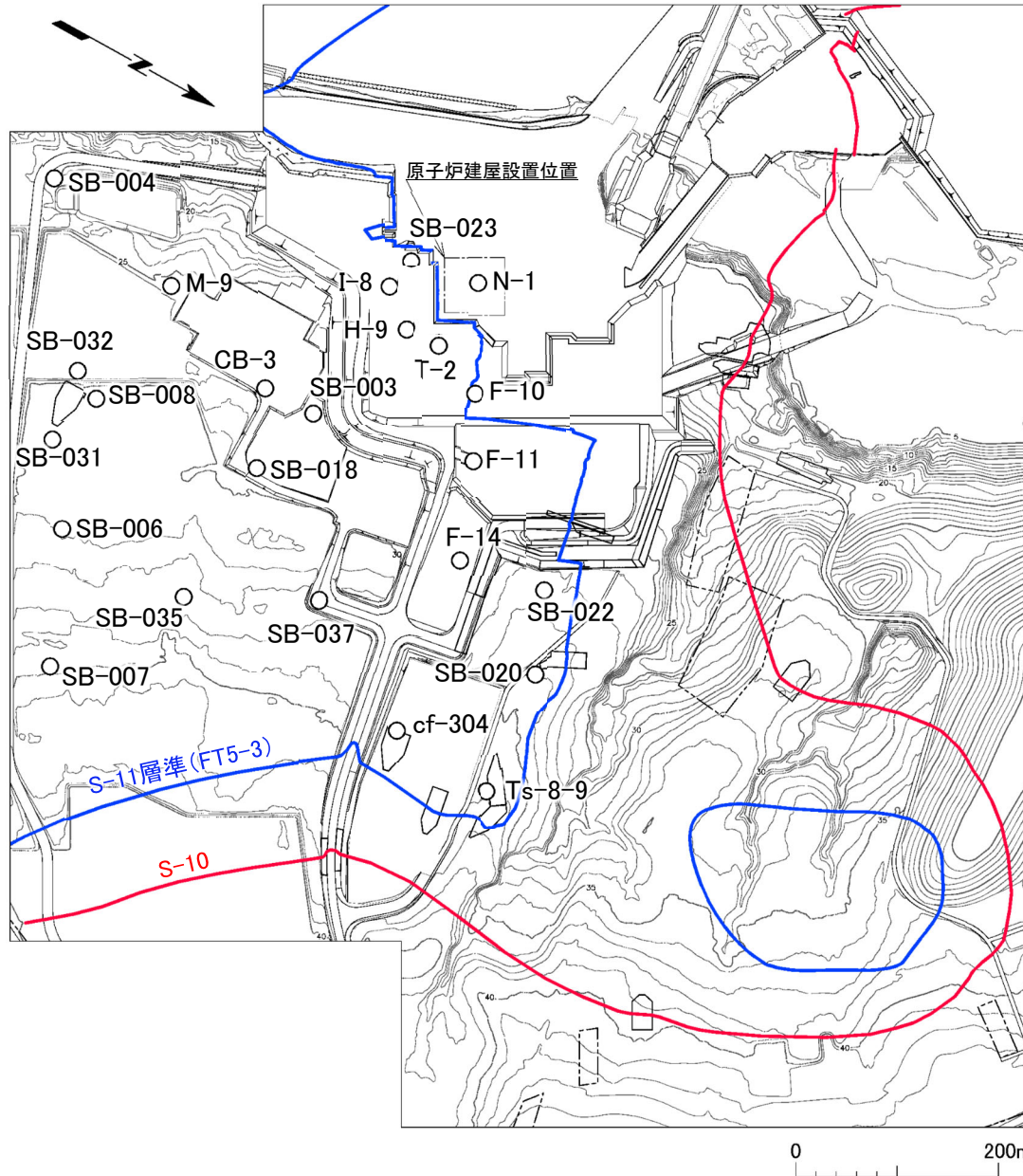
地質柱状図及びコア写真の掲載頁一覧表

孔名	地質柱状図	コア写真
N-1	4 ~ 5	61 ~ 62
F-10	6 ~ 7	63 ~ 64
F-11	8 ~ 9	65 ~ 66
F-14	10 ~ 11	67 ~ 68
H-9	12 ~ 13	69 ~ 70
I-8	14 ~ 15	71 ~ 72
M-9	16 ~ 18	73 ~ 75
T-2	19 ~ 20	76 ~ 77
Ts-8-9	21	78
cf-304	22	79
CB-3	23 ~ 25	80 ~ 82
SB-003	26 ~ 28	83 ~ 85

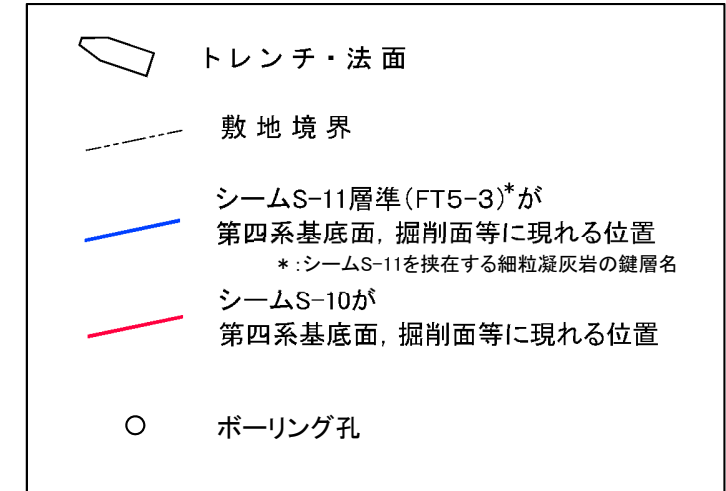
孔名	地質柱状図	コア写真
SB-004	29 ~ 32	86 ~ 89
SB-006	33 ~ 35	90 ~ 92
SB-007	36 ~ 37	93 ~ 94
SB-008	38 ~ 40	95 ~ 97
SB-018	41 ~ 43	98 ~ 100
SB-020	44 ~ 45	101 ~ 102
SB-022	46 ~ 47	103 ~ 104
SB-023	48 ~ 49	105 ~ 106
SB-031	50 ~ 52	107 ~ 109
SB-032	53 ~ 55	110 ~ 112
SB-035	56 ~ 58	113 ~ 115
SB-037	59 ~ 60	116 ~ 117

1. ボーリング調査位置図

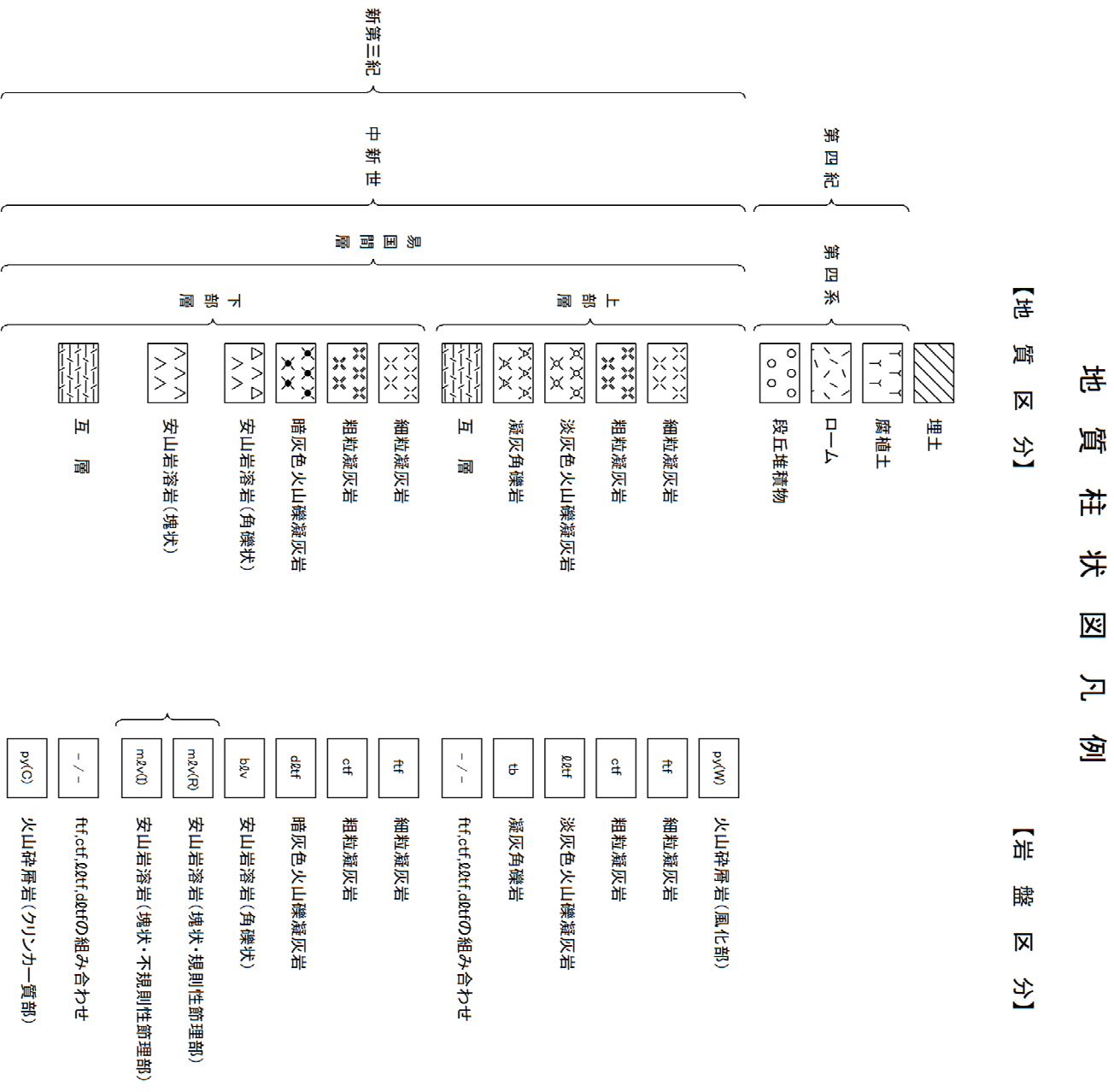
後期更新世に生じた変状のボーリング調査位置図



凡例



2. 地質柱状図凡例



(注1) 地質名のうち互層の構成は、主要な構成地質から順に記載している。
例えば、シルト岩／粗粒凝灰岩／暗灰色火山礫凝灰岩互層など。
(注2) 色調のうち、礫部と基質部とから成る地質については、礫部／基質部の順に記載している。
例えば、灰黒／淡黄灰など。

3. 地質柱状図(1/57)

N-1孔 深度0m~30m

標尺 (m)		深度 (m)		標高 T.P. (m)		柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (m)	RQD (%)	記事
0	0.65	14.60	14.60	14.60	14.60	Y Y	第四系	腐植土	-	褐黒	100	0		
1	2.20	13.05	13.05	13.05	13.05	〇 〇 〇		ローA		褐	100	0		
2	4.44	10.81	10.81	10.81	10.81	〇 〇 〇	第四系	段丘堆積物	p(VV)	暗灰/暗褐	100	0	4.44m~5.01m: 風化により軟弱化している。	
3										灰黒/淡黄褐	100	0		
4							第四系	淡灰色火山礫凝灰岩	qbtf	灰黒/淡黄灰	100	0	5.75m~5.88m: 粗粒凝灰岩と淡灰色火山礫凝灰岩の相互層が分布する。	
5										灰黒/暗黄灰	100	0		
6							第四系	淡灰色火山礫凝灰岩	qbtf	灰黒	100	0	9.89m~9.94m: 厚さ約5cmの粗粒凝灰岩が分布する。 9.91m: 厚さ約1.2cmのシルトがある。	
7										暗灰	100	0		
8							第四系	淡灰色火山礫凝灰岩	qbtf	灰黒/暗黄灰	100	0	10.42m~10.54m: 厚さ約12cmの粗粒凝灰岩が分布する。	
9										粗粒凝灰岩	100	0		
9.46	9.71	5.79	5.54	5.54	5.54		第四系	凝灰角礫岩	tb	灰黒	100	0		
10	10.54	4.71	4.71	4.71	4.71					暗灰/暗黄灰	100	0		
11							第四系	凝灰角礫岩	tb	灰黒/淡黄灰	100	0		
12										暗灰	100	0		
13							第四系	凝灰角礫岩	tb	灰黒	100	0		
14										暗灰	100	0		
15							第四系	凝灰角礫岩	tb	灰黒	100	0		
16										暗灰	100	0		
17							第四系	凝灰角礫岩	tb	灰黒	100	0		
18										暗灰	100	0		
19							第四系	凝灰角礫岩	tb	灰黒	100	0		
20										暗灰	100	0		
21							第四系	凝灰角礫岩	tb	灰黒	100	0		
22										暗灰	100	0		
23	23.00	-7.75	-7.75	-7.75	-7.75		第四系	凝灰角礫岩	tb	灰黒/淡黄灰	100	0		
24	23.68	-8.43	-8.43	-8.43	-8.43					暗灰	100	0		
25	25.52	-10.27	-10.27	-10.27	-10.27		第四系	凝灰角礫岩	tb	灰黒/淡黄灰	100	0		
26										暗灰	100	0		
27							第四系	凝灰角礫岩	tb	灰黒	100	0		
28										暗灰	100	0		
29							第四系	凝灰角礫岩	tb	灰黒	100	0		
30										暗灰	100	0		

注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、4.44m~10.54mにやや細粒で成層構造が発達する部分が認められる(P.61のコア写真参照)。



3. 地質柱状図(2/57)

N-1孔 深度30m~60m

孔名：N-1										掘削長：460.00m (16-2)			
孔口標高：T.P.15.25m										コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	R Q D (%)	記事
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	R Q D (%)		最大コア長 (cm)	コア採取率 (%)		
30			△△△	奥国間層 上部層	淡灰色火山礫凝灰岩	dit	灰黒/淡黄灰	100	51	92	100	39.07m~39.10m:細粒凝灰岩が分布する。 39.08m:厚さ約1.6cmのラッカース(S-10)がある。	
31			△△△			100	40	100					
32			△△△			100	53	94					
33			△△△			100	43	96					
34			△△△			100	48	92					
35			△△△			100	46	69					
36			△△△			100	39	76					
37			△△△			100	37	87					
38			△△△			100	73	96					
39			△△△			100	61	88					
40			△△△			100	22	46					
41			△△△			奥国間層 下部層	鞍山岩溶岩(角礫状)	dit	黒/暗黄灰	100	83		94
42			△△△	100	69			95					
43			△△△	100	35			75					
44			△△△	100	51			89					
45			△△△	100	47			92					
46			△△△	100	50			97					
47			△△△	100	36			93					
48			△△△	100	54			92					
49			△△△	100	49			85					
50			△△△	100	46			90					
51			△△△	100	17	57							
52			△△△	100	30	41							
53			△△△	100	17	40							
54			△△△	100	22	29							
55			△△△	100	22	29							
56			△△△	100	29	29							
57	57.00	-41.75	△△△	100	29	29							
58			△△△	100									
59			△△△	100									
60			△△△	100									

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、38.50m~42.68mにやや細粒で成層構造が発達する部分が認められる(P.62のコア写真参照)。

3. 地質柱状図(3/57)

F-10孔 深度0m~30m

標尺 (m)		深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
0	0.52	21.58	19.62	丁丁	第四系	腐植土	-	褐黒	100	0	100	掘削長: 326.00m (11-1)
1						ローA		褐	100	0	100	
2	2.48								100	0	100	
3									100	0	100	
4									100	0	100	
5									100	0	100	
6									100	0	100	
7									100	0	100	
8									100	0	100	
9									100	0	100	
10									100	0	100	
11									100	0	100	
12	12.20	9.90							100	0	100	
13	12.80	9.30							100	0	100	
14									100	0	100	
15	15.40	6.70							100	0	100	
16	16.05	6.05							100	0	100	
17	16.83	5.27							100	0	100	
18	17.66	4.44							100	0	100	
19									100	0	100	
20									100	0	100	
21									100	0	100	
22									100	0	100	
23									100	0	100	
24									100	0	100	
25									100	0	100	
26									100	0	100	
27									100	0	100	
28									100	0	100	
29									100	0	100	
30									100	0	100	

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、9.00m~13.70m、15.00m~17.60mにやや細粒で成層構造が発達する部分(P.63のコ写真参照)。

2.48m~9.20m:風化により軟質化している。
 9.18m~9.19m:細粒凝灰岩が分布する。
 9.19m:厚さ約0.5mmのソーAS-11がある。
 11.77m~11.88m:粗粒凝灰岩が分布する。
 16.83m~16.86m:細粒凝灰岩が分布する。
 16.92m~16.98m:粗粒凝灰岩とシルト岩の相互層が分布する。

3. 地質柱状図(4/57)

F-10孔 深度30m~60m

標尺 (m)		深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
30		32.08	-9.98	△△△△ △△△△ △△△△	島国間層 上部層	凝灰角礫岩	tb	灰黒・地黒/ 淡黄灰	100	27	71	
31									100	36	72	
32		44.43	-22.33	△△△△ △△△△ △△△△ △△△△ △△△△ △△△△ △△△△ △△△△ △△△△ △△△△	島国間層 下部層	凝灰色火山礫凝灰岩	durf	灰黒/ 淡黄灰	100	62	83	44.94m~44.99m:細粒凝灰岩が分布する。 44.97m:厚さ約1.7cmのラーA(S-10)がある。
33									100	79	93	
34									100	39	100	
35									100	33	78	
36									100	33	100	
37									100	27	64	
38									100	20	64	
39									100	55	100	
40									100	56	56	
41									100	45	95	
42		100	37	88								
43		100	74	88								
44		46.55	-24.45	△△△△ △△△△ △△△△	粗粒凝灰岩	ctf	灰	100	41	92		
45								100	57	100		
46								100	25	97		
47		47.23	-25.13	△△△△ △△△△	粗粒凝灰岩/ 粗粒凝灰岩/ 粗粒色火山礫凝灰岩	ctf/ctf /d0tf	灰黒・地黒/ 暗黄灰 黄灰・灰 暗黄灰	100	38	100		
48								100	29	83		
49		55.90	-33.80	△△△△ △△△△ △△△△ △△△△ △△△△ △△△△ △△△△ △△△△ △△△△ △△△△	安山岩溶岩(角礫状)	bbv	黒/ 暗黄灰	100	44	100	55.90m~56.65m:黒色の島国間層凝灰岩が認められる。 55.90m~61.42m:短柱状コア~岩片状コアを主体とする。	
50								100	36	78		
51								100	40	89		
52								100	38	100		
53								100	32	87		
54								100	47	90		
55								100	17	71		
56								100	18	18		
57								100	9	0		
58								100	11	22		
59		100	18	40								
60												

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、38.30m~47.23mにやや細粒で成層構造が発達する部分が発見される(P.64のコア写真参照)。

孔名: F-10

孔口標高: T.P.22.10m

掘削長: 326.00m

(11-2)

3. 地質柱状図(5/57)

F-11孔 深度0m~30m

標尺 (m)		深度 (m)		標高 (m)		柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
0	1	0.58	1.78	25.22	24.02									
0	1	0.58	1.78	25.22	24.02	丁丁	第四系	腐植土 ローA	-	褐黒 褐	100 100	0 100	0 100	掘削長: 180.00m (6-1) 1.78m~3.58m: 風化により軟弱化している。 13.57m~13.82m: 細粒凝灰岩が分布する。 13.59m: 厚さ約3.3cmのS-4(S-11)がある。 21.76m~21.86m: 淡灰色火山凝灰岩が分布する。 22.31m~22.48m: 淡灰色火山凝灰岩が分布する。
2	3					XXXXXX			砂岩	灰黒/淡黄褐	100	0	0	
3	4					XXXXXX			砂岩	灰黒/淡黄褐	100	14	25	
4	5					XXXXXX			砂岩	灰黒/淡黄褐	100	48	87	
5	6					XXXXXX			砂岩	灰黒/淡黄褐	100	34	92	
6	7					XXXXXX			砂岩	灰黒/淡黄褐	100	37	100	
7	8					XXXXXX			砂岩	灰黒/淡黄褐	100	39	89	
8	9					XXXXXX			砂岩	灰黒/淡黄褐	100	50	100	
9	10					XXXXXX			砂岩	灰黒/淡黄褐	100	51	89	
10	11					XXXXXX			砂岩	灰黒/淡黄褐	100	51	94	
11	12					XXXXXX			砂岩	灰黒/淡黄褐	100	71	100	
12	13					XXXXXX			砂岩	灰黒/淡黄褐	100	43	72	
13	14					XXXXXX			砂岩	灰黒/淡黄褐	100	49	72	
14	15					XXXXXX			砂岩	灰黒/淡黄褐	100	50	92	
15	16					XXXXXX			砂岩	灰黒/淡黄褐	100	33	88	
16	17	16.58	17.36	9.22	8.44	XXXXXX	異国門層 上部層	淡灰色火山凝灰岩 /粗粒凝灰岩	砂岩	灰黒/淡黄褐 /灰黒/淡黄褐	100	62	100	
17	18					XXXXXX			砂岩	灰黒/淡黄褐	100	82	100	
18	19					XXXXXX			砂岩	灰黒/淡黄褐	100	40	91	
19	20					XXXXXX			砂岩	灰黒/淡黄褐	100	37	93	
20	21	20.35	20.78	5.45	5.02	XXXXXX			砂岩	灰黒/暗黄灰 /暗黄灰	100	52	95	
21	22	21.30	21.52	4.50	4.28	XXXXXX			砂岩	灰黒/暗黄灰 /暗黄灰	100	27	89	
22	23	21.98	22.31	3.82	3.49	XXXXXX			砂岩	粗粒凝灰岩 /淡灰色火山凝灰岩 粗粒凝灰岩 /淡灰色火山凝灰岩	100	36	92	
23	24					XXXXXX			砂岩	灰黒/暗黄灰 /暗黄灰	100	44	86	
24	25					XXXXXX			砂岩	灰黒/暗黄灰 /暗黄灰	100	23	72	
25	26					XXXXXX			砂岩	灰黒/暗黄灰 /暗黄灰	100	39	94	
26	27					XXXXXX			砂岩	灰黒/暗黄灰 /暗黄灰	100	30	100	
27	28					XXXXXX			砂岩	灰黒/暗黄灰 /暗黄灰	100	42	85	
28	29					XXXXXX			砂岩	灰黒/暗黄灰 /暗黄灰	100	31	100	
29	30					XXXXXX			砂岩	灰黒/暗黄灰 /暗黄灰	100	34	96	

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、13.20m~22.31mにやや細粒で成層構造が発達する部分
が認められる(P.65のコア写真参照)。

3. 地質柱状図(6/57)

F-11孔 深度30m~60m

孔名: F-11		孔口標高: T.P.25.80m		掘削長: 180.00m (6-2)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
30			XXXXXX	奥国間層 上部層	凝灰角礫岩	tb	灰黒・褐黒/ 淡黄灰	100	27	90	40.48m付近:厚さ約2cm~約3cmの粗粒凝灰岩が分布する。 40.85m付近:40.89m付近:厚さ約1cmの粗粒凝灰岩の薄層が分布する。
31			XXXXXX					100	72	96	
32			XXXXXX	奥国間層 下部層	凝灰角礫岩	tb	灰黒・淡黄灰	100	37	100	42.76m付近:厚さ約1cmの粗粒凝灰岩の薄層が分布する。 40.85m付近:厚さ約2cmの粗粒凝灰岩が分布する。 46.83m~46.92m:細粒凝灰岩が分布する。 46.84m:厚さ約2.0cmのレーム(S-10)がある。
33			XXXXXX					100	37	92	
34	34.52	-8.72	XXXXXX					100	72	100	
35			XXXXXX					100	25	99	
36			XXXXXX					100	38	88	
37			XXXXXX					100	54	100	
38			XXXXXX					100	35	94	
39			XXXXXX					100	26	93	
40			XXXXXX					100	79	100	
41			XXXXXX					100	31	96	
42			XXXXXX	100	31	100					
43			XXXXXX	100	30	92					
44			XXXXXX	100	42	100					
45			XXXXXX	100	37	80					
46	46.35	-20.55	XXXXXX	100	67	67	46.15m付近:厚さ約2cmの粗粒凝灰岩が分布する。				
47	47.17	-21.37	XXXXXX	粗粒凝灰岩	ctf	灰	100	67	46.83m		
47	47.60	-21.80	XXXXXX	粗粒凝灰岩	ctf/ctf	黄灰・灰 黄灰	100	54	46.83m		
48	48.00	-22.20	XXXXXX	粗粒凝灰岩	ctf	暗灰	100	69	46.84m		
48	48.50	-22.70	XXXXXX	粗粒凝灰岩/ 凝灰角礫岩	py(C)	灰黒/暗灰	100	43	49.63m		
49	48.84	-23.04	XXXXXX	粗粒凝灰岩/ 凝灰角礫岩	ctf/ctf	灰黒・暗灰/ 黄灰・暗黄灰	100	42	49.63m		
49	49.63	-23.83	XXXXXX	粗粒凝灰岩	ctf/ctf	暗灰	100	56	49.63m		
50			XXXXXX	奥国間層 下部層	凝灰角礫岩	mbv(I)	黒灰	100	34	44	49.63m~88.58m:粗柱状~柱状コアを主体とする。
51			XXXXXX					100	10	44	
52			XXXXXX					100	19	46	
53			XXXXXX					100	27	64	
54			XXXXXX					100	19	68	
55			XXXXXX					100	23	61	
56			XXXXXX					100	26	70	
57			XXXXXX					100	34	60	
58			XXXXXX					100	37	61	
59			XXXXXX					100	23	71	
60			XXXXXX	100	23	71					

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、45.80m~49.63mにやや細粒で成層構造が発達する部分が発見される(P.66のコア写真参照)。

3. 地質柱状図(7/57)

F-14孔 深度0m~30m

標尺 (m)		深度 (m)		柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
0	0.52	28.92	27.40	T T O O O O	第四系	腐植土	-	褐黒	100			2.04m~約8.0m:風化により軟質化している。
1	1.08	28.36	段丘堆積物			ローム		暗灰 / 弱地	100	48	88	
2	2.04						褐黒 / 黄褐色	100	28	100	14.30m付近:厚さ約1cmの粗粒凝灰岩が分布する。 14.60m付近:厚さ約1cmの粗粒凝灰岩が分布する。 14.61m付近:厚さ約0.4cmの細粒凝灰岩層が粗粒凝灰岩が分布する。 14.61m:厚さ約0.7cmのラニーAS-11)がある。 14.72m付近:厚さ約3cmの粗粒凝灰岩が分布する。	
3							灰黒 / 淡黄灰	100	59	97		
4							灰黒 / 淡黄灰	100	91	91		
5							灰黒 / 淡黄灰	100	48	88		
6							灰黒 / 淡黄灰	100	28	100		
7							灰黒 / 淡黄灰	100	48	88		
8							灰黒 / 淡黄灰	100	91	91		
9							灰黒 / 淡黄灰	100	48	88		
10							灰黒 / 淡黄灰	100	28	100		
11							灰黒 / 淡黄灰	100	48	88		
12							灰黒 / 淡黄灰	100	91	91		
13							灰黒 / 淡黄灰	100	48	88		
14							灰黒 / 淡黄灰	100	28	100		
15							灰黒 / 淡黄灰	100	48	88		
16							灰黒 / 淡黄灰	100	91	91		
17							灰黒 / 淡黄灰	100	48	88		
18							灰黒 / 淡黄灰	100	28	100		
19							灰黒 / 淡黄灰	100	48	88		
20							灰黒 / 淡黄灰	100	91	91		
21	21.42	8.02					粗粒凝灰岩	100	54	100	21.98m~22.03m:粗粒凝灰岩が分布する。 22.35m~22.47m:粗粒凝灰岩が分布する。 22.54m付近:厚さ約12cmの細粒凝灰岩が分布する。	
22	22.03	7.41					粗粒凝灰岩	100	81	81		
23	22.03	6.97					粗粒凝灰岩	100	36	84		
24							粗粒凝灰岩	100	96	86		
25							粗粒凝灰岩	100	68	100		
26							粗粒凝灰岩	100	33	93		
27							粗粒凝灰岩	100	82	100		
28							粗粒凝灰岩	100	77	100		
29							粗粒凝灰岩	100	44	96		
30							粗粒凝灰岩	100	75	87		

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、14.30m~15.10m、17.70m~18.00m、19.80m~22.47mにやや細粒で成層構造が発達する部分が認められる(P.67のコア写真参照)。

孔名: F-14

孔口標高: T.P.29.44m

掘削長: 412.00m

(14-1)



3. 地質柱状図(8/57)

F-14孔 深度30m~60m

孔名: F-14		孔口標高: T.P.29.44m		掘削長: 412.00m (14-2)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
30			易国間層 上部層		凝灰角礫岩	tb	灰黒/淡黄灰	100	74	100	
31	32.20	-2.76						100	50	85	
32			易国間層 下部層	安山岩溶岩(塊状)	mtf/ctf	灰黒/淡黄灰	100	68	100	42.96m~43.05m, 43.11m~43.17m:粗粒凝灰岩が分布する。 43.26m~43.41m:粗粒凝灰岩が分布する。 43.31m:厚さ約5.2cmのS-A(S-10)がある。	
33							100	61	100		
34							100	61	100		
35							100	58	100		
36							100	41	96		
37							100	37	100		
38							100	62	92		
39							100	68	100		
40							100	37	84		
41							100	26	86		
42							100	22	89		
43							100	30	51		
44							100	33	97		
45			100	30	79						
46			100	59	100						
47			100	79	100						
48			100	39	100						
49			100	37	90						
50			100	19	50						
51			100	17	43						
52			100	43	87						
53			100	25	65						
54			100	15	35						
55			100	16	45						
56			100	15	27						
57			100	38	67						
58			100	37	73						
59			100	34	62						
60			100								

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、42.00m~45.64mにやや細粒で成層構造が発達する部分
が認められる(P.88のコ写真参照)。



3. 地質柱状図 (9/57)

H-9孔 深度0m～30m

標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)		最大コア長 (cm)	R Q D (%)	記事
								0/100	100/100			
0	0.43	22.29	第四系	腐植土 ローA	-	褐色	100	100	0	0		1.59m～15.07m: 風化により軟質化している。
1	1.59	21.13					100	100	0	0		
2			第四系 上部層	凝灰色火山礫凝灰岩	py(W)	灰黒/ 淡黄褐色	100	100	0	0	72	15.10m～15.11m, 15.12m～15.14m: 粗粒凝灰岩が分布する。
3							100	100	0	0		
4							100	100	0	0		
5							100	100	0	0		
6							100	100	0	0		
7							100	100	0	0		
8							100	100	0	0		
9							100	100	0	0		
10							100	100	0	0		
11							100	100	0	0		
12							100	100	0	0		
13							100	100	0	0		
14			100	100	0	0						
15			100	100	0	0						
16			100	100	0	0						
17			100	100	0	0						
18			100	100	0	0						
19			100	100	0	0						
20			100	100	0	0						
21			100	100	0	0						
22			100	100	0	0						
23	23.42	-0.70	100	100	0	0						
24			100	100	0	0						
25			100	100	0	0						
26			100	100	0	0						
27			100	100	0	0						
28			100	100	0	0						
29			100	100	0	0						
30			100	100	0	0						

孔名: H-9

孔口標高: T.P.22.72m

掘削長: 175.00m (6-1)

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、14.90m～23.42mにやや細粒で成層構造が発達する部分
が認められる。15.12m付近がP-S-11層準(TF5-3)に相当する(P.69のコア写真参照)。



3. 地質柱状図(10/57)

H-9孔 深度30m~60m

孔名: H-9

孔口標高: T.P.22.72m

掘削長: 175.00m (6-2)

標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事	
30	37.72	-15.00	[Pattern]	易固間層 上部層	凝灰角礫岩	tb	灰黒・極黒 / 淡黄灰	100	65	96	53.24m~53.46m:粗粒凝灰岩が分布する。 53.29m:厚さ約9.0cmのソーメ(S-10)がある。	
31								100	69	96		
32								100	50	100		
33								100	55	100		
34								100	64	100		
35								100	58	100		
36								100	35	85		
37								100	88	100		
38								100	100	100		
39								100	55	87		
40	100	87	100									
41	100	84	100									
42	100	73	100									
43	100	48	91									
44	100	55	99									
45	100	89	100									
46	100	100	100									
47	100	58	100									
48	100	55	95									
49	100	99	100									
50	100	62	91									
51	100	100	100									
52	52.65	-29.93	[Pattern]	易固間層 下部層	粗粒凝灰岩 / 凝灰色火山凝灰岩	灰黒 / 淡黄灰	100	55	100			
53	53.24	-30.52	[Pattern]				粗粒凝灰岩 / 凝灰色火山凝灰岩 / 凝灰色火山凝灰岩	ttf / ctf / ddt	灰黒 / 淡黄灰	100	43	84
54	53.72	-31.00	[Pattern]				粗粒凝灰岩	tt	黄灰	100	33	83
55	54.56	-31.84	[Pattern]				粗粒凝灰岩 / 粗粒凝灰岩	dtf / ctf	黒 / 暗黄灰・灰	100	29	81
56	55.47	-32.76	[Pattern]				粗粒凝灰岩 / 粗粒凝灰岩	ttf / ctf	黄灰・灰	100	43	71
57	56.11	-33.39	[Pattern]				安山岩溶岩 (角礫状)	bbr	黒 / 暗黄灰	100	17	58
58			[Pattern]							100	31	74
59			[Pattern]							100		64
60			[Pattern]							100	25	

注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、46.10m~47.20m、52.00m~56.11mにやや細粒で成層構造が発達する部分が認められる(P.70のコ写真参照)。

3. 地質柱状図(11/57)

I-8孔 深度0m~30m

孔名: I-8		孔口標高: T.P.17.73m		掘削長: 321.00m (11-1)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
0	0.97	16.76	TTT	第四系	腐植土		褐黒	100			5.46m~11.20m: 風化により軟質化している。
1	2.88	14.85	〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇		ローム	-	褐	100			
2	5.46	12.27	〇〇〇 〇〇〇	第四系 易固面層 上部層	段丘堆積物		暗灰 / 暗褐	100			11.37m~11.47m: 粗粒凝灰岩が分布する。 11.42m付近: 厚さ約1cmにわたり細粒凝灰岩層である。
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14	14.89	2.84									
15	15.24	2.49									
16											
17											
18	18.69	-0.96									
19	18.98	-1.25									
20	19.97	-2.24									
21											
22											
23											
24											
25											
26											
27											
28											
29											
30											

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、11.20m~12.10m, 13.90m~15.00m, 18.00m~19.97m にやや細粒で成層構造が発達する部分が認められる。11.42m付近がS-11層準(FT5-3)に相当する(P.71の写真を参照)。

3. 地質柱状図(12/57)

I-8孔 深度30m~60m

孔名: I-8		孔口標高: T.P.17.73m		掘削長: 321.00m (11-2)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
30			易固間層 上部層	粗粒凝灰岩	凝灰色火山凝灰岩	dctf	灰黒/淡黄灰	100	64	100	50.30m~50.43m:粗粒凝灰岩が分布する。 50.35m:厚さ約6.6cmのシミ(S-10)がある。 52.28m~52.38m:粗粒凝灰岩が分布する。 52.32m:厚さ約0.2cmのシミがある。
31		100						100	100		
32		100						100	100		
33		100						75	100		
34		100						42	100		
35	35.06	-17.33						51	100		
36								63	100		
37								78	94		
38								97	97		
39								54	100		
40			42	100							
41			51	96							
42			53	92							
43			44	93							
44			35	100							
45			59	100							
46			67	95							
47			53	94							
48			44	93							
49	49.73	-32.00	50	90							
50	50.30	-32.57	27	79							
51	51.14	-33.41	72	90							
52	52.28	-34.55	36	100							
53	52.63	-34.90	83	83							
54			26	100							
55			48	100							
56			33	78							
57			35	87							
58			39	80							
59			36	62							
60											

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、48.20m~51.14mにやや細粒で成層構造が発達する部分が発見される。11.42m付近がシミ(S-11)層準(F15-3)に相当する(P.72のコア写真参照)。



第615回審査会合
机上配布資料 P.15 再掲

3. 地質柱状図(13/57)

M-9孔 深度0m~30m

標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名		岩盤区分	色調		コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
					層位	土		黒褐	褐				
0	0.44	24.86		第四系	層位	土	-	黒褐	褐	100	0	0	5.26m~16.49m:風化により散質化している。
1	1.79	23.51			段丘堆積物				100	0	0	0	
2				第四系	段丘堆積物	砂質土	-	暗灰/暗褐	褐	100	0	0	
3										100	0	0	
4				第四系	段丘堆積物	砂質土	-	暗灰/暗褐	褐	100	0	0	
5	5.26	20.04								100	0	0	
6				第四系	段丘堆積物	砂質土	-	暗灰/暗褐	褐	100	0	0	
7										100	0	0	
8				第四系	段丘堆積物	砂質土	-	暗灰/暗褐	褐	100	0	0	
9										100	0	0	
10				第四系	段丘堆積物	砂質土	-	暗灰/暗褐	褐	100	0	0	
11										100	0	0	
12				第四系	段丘堆積物	砂質土	-	暗灰/暗褐	褐	100	0	0	
13										100	0	0	
14				第四系	段丘堆積物	砂質土	-	暗灰/暗褐	褐	100	0	0	
15										100	0	0	
16				第四系	段丘堆積物	砂質土	-	暗灰/暗褐	褐	100	0	0	
17										100	0	0	
18				第四系	段丘堆積物	砂質土	-	暗灰/暗褐	褐	100	0	0	
19										100	0	0	
20				第四系	段丘堆積物	砂質土	-	暗灰/暗褐	褐	100	0	0	
21										100	0	0	
22				第四系	段丘堆積物	砂質土	-	暗灰/暗褐	褐	100	0	0	
23										100	0	0	
24				第四系	段丘堆積物	砂質土	-	暗灰/暗褐	褐	100	0	0	
25										100	0	0	
26				第四系	段丘堆積物	砂質土	-	暗灰/暗褐	褐	100	0	0	
27										100	0	0	
28				第四系	段丘堆積物	砂質土	-	暗灰/暗褐	褐	100	0	0	
29										100	0	0	
30				第四系	段丘堆積物	砂質土	-	暗灰/暗褐	褐	100	0	0	
										100	0	0	

孔名: M-9 孔口標高: T.P.25.30m 掘削長: 430.00m (15-1)

3. 地質柱状図(14/57)

M-9孔 深度30m~60m

孔名: M-9		孔口標高: T.P.25.30m		掘削長: 430.00m (15-2)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 (m) T.P.	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%) 0, 100	最大コア長 (cm) 0, 100	RQD (%) 0, 100	記事
30			XXXXXX					100	38	96	
31			XXXXXX					100	38	100	
32			XXXXXX					100	53	100	
33			XXXXXX					100	57	97	
34			XXXXXX					100	37	100	
35			XXXXXX					100	48	87	35.31m~35.60m:粗粒凝灰岩が分布する。
36			XXXXXX					100	44	82	
37			XXXXXX					100	62	100	
38			XXXXXX		淡灰色火山凝灰岩	0aT	灰黒/ 淡黄灰	100	100	100	38.75m~38.79m:粗粒凝灰岩が分布する。 39.15m~39.18m:粗粒凝灰岩が分布する。
39			XXXXXX					100	78	100	
40			XXXXXX					100	100	100	
41			XXXXXX					100	87	87	
42			XXXXXX					100	46	100	
43			XXXXXX					100	90	100	
44			XXXXXX					100	46	100	44.55m, 44.61m: それぞれ厚さ約2cmの細粒凝灰岩が分布する。
45	45.19	-19.89	XXXXXX	易固間層 上部層	細粒凝灰岩 /粗粒凝灰岩	ttt/cst	黄灰・灰	100	36	89	45.20m~45.29m, 45.32m~45.35m:粗粒凝灰岩が分布する。 45.38m~45.44m:細粒凝灰岩が分布する。 45.59m:厚さ約0.6cmのラムラがある。
46	45.44	-20.14	XXXXXX					100	64	81	
47			XXXXXX					100	67	100	
48			XXXXXX					100	59	100	
49			XXXXXX					100	64	85	
50			XXXXXX					100	59	96	
51			XXXXXX					100	74	90	
52			XXXXXX					100	68	100	
53			XXXXXX		凝灰角礫岩	tb	灰黒/ 淡黄灰	100	64	87	
54			XXXXXX					100	38	100	
55			XXXXXX					100	55	94	
56			XXXXXX					100	67	100	
57			XXXXXX					100	64	100	
58			XXXXXX					100	79	91	
59			XXXXXX					100	64	100	
60			XXXXXX					100	79	91	

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、35.00m~40.00m, 43.80m~45.44mにやや細粒で成層構造が発達する部分が発見される。38.37m付近が「LS-11層準(FT5-3)」に相当する(P.74のコア写真参照)。

3. 地質柱状図(15/57)

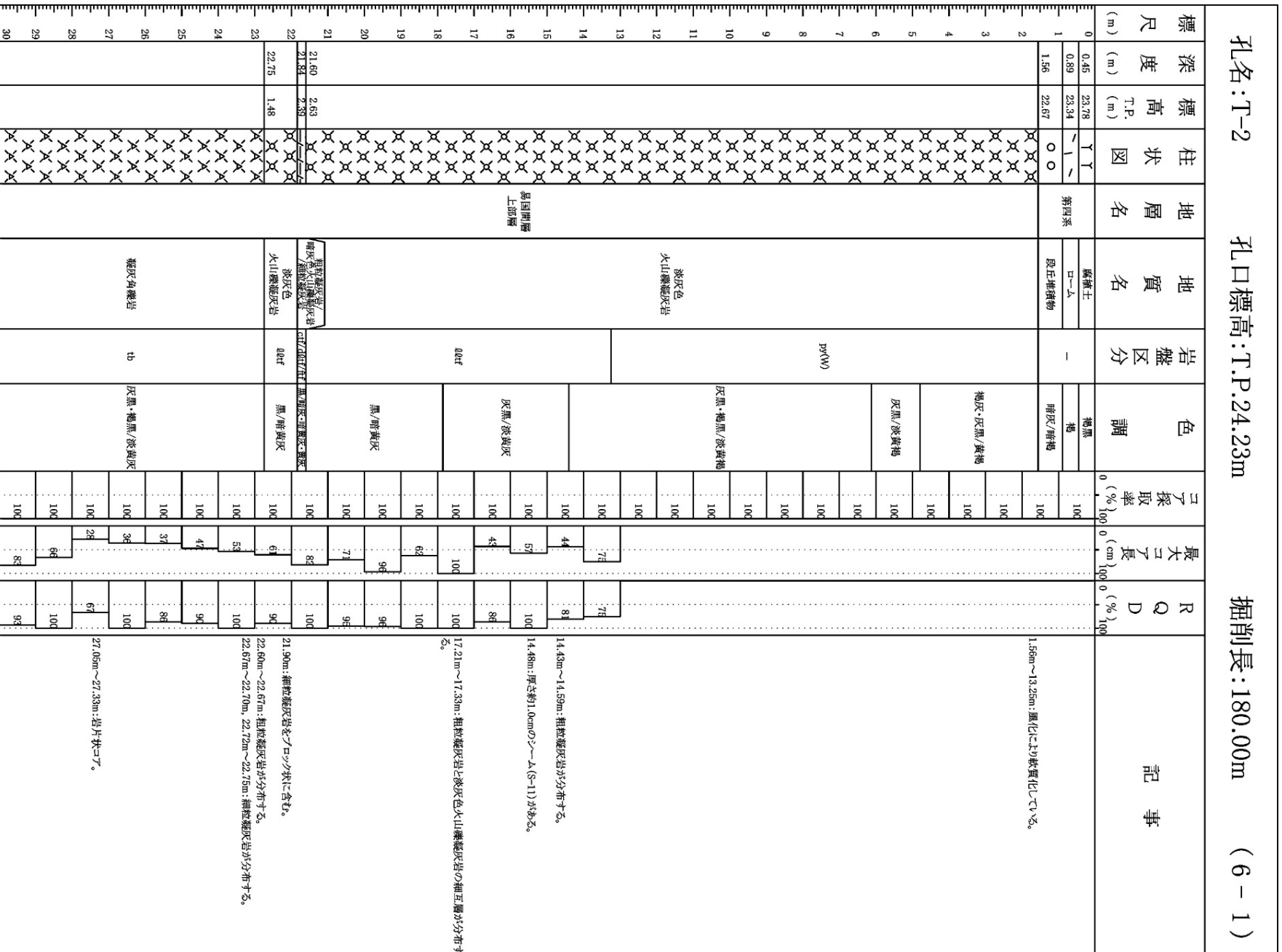
M-9孔 深度60m~90m

孔名: M-9		孔口標高: T.P.25.30m		掘削長: 430.00m (15-3)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 (m) T.P.	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%) 0/100	最大コア長 (cm) 0/100	RQD (%) 0/100	記事
60			△△△△	鼻国間層 上部層	凝灰角礫岩	tb	灰黒/ 淡黄灰	100	58	96	82.86m~82.98m: 細粒凝灰岩が分布する。 82.99m: 厚さ約3.0cmのラウーA(S-10)がある。 83.67m~83.78m: 細粒凝灰岩が分布する。 83.70m: 厚さ約2.0cmのラウーAがある。
61			△△△△					100	61	84	
62	62.07	-36.77	△△△△	100	79	100					
63			△△△△	100	74	97					
64			△△△△	100	54	100					
65			△△△△	100	45	96					
66			△△△△	100	100	100					
67			△△△△	100	44	100					
68			△△△△	100	37	100					
69			△△△△	100	49	87					
70			△△△△	100	60	100					
71			△△△△	100	65	98					
72			△△△△	100	68	93					
73			△△△△	100	77	92					
74			△△△△	100	70	100					
75			△△△△	100	55	100					
76			△△△△	100	85	100					
77			△△△△	100	53	93					
78			△△△△	100	40	79					
79			△△△△	100	68	100					
80			△△△△	100	68	100					
81			△△△△	100	30	30					
82	82.15	-56.85	△△△△	100	30	44					
82	82.75	-57.45	△△△△	100	36	89					
83			△△△△	粗粒凝灰岩 / 細粒凝灰岩	ctf/ht	灰・黄灰	100	20	55		
84	84.17	-58.87	△△△△	粗粒凝灰岩	ctf	灰	100	64	30		
85	85.39	-60.09	△△△△	暗灰色火山礫凝灰岩	dctf	灰黒/ 暗灰	100	37	32		
86			△△△△	暗灰色火山礫凝灰岩/ 暗灰色火山礫凝灰岩	ctf/ht /dctf	灰黒/灰・ 黄灰・暗灰	100	25	60		
87	86.41	-61.11	△△△△	鼻国間層 下部層	安山岩溶岩(角礫状)	bdr	黒/暗黄灰	100	42	83	
88			△△△△	100				49	95		
89			△△△△	100				74	74		

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、82.10m~84.17m, 85.39m~86.41mにやや細粒で成層構造が発達する部分が発見される(P.75のコア写真参照)。

3. 地質柱状図(16/57)

T-2孔 深度0m~30m



孔名: T-2

孔口標高: T.P.24.23m

掘削長: 180.00m

(6-1)

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、14.40m~22.80mにやや細粒で成層構造が発達する部分が認められる(P.76のコア写真参照)。

3. 地質柱状図(17/57)

T-2孔 深度30m~60m

孔名:T-2		孔口標高:T.P.24.23m		掘削長:180.00m (6-2)														
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事							
30	37.00	-12.77	[X-pattern]	鼻国間層 上部層	凝灰色火山礫凝灰岩	tb	灰黒・褐黒/灰黒灰	100	84	97	51.41m~51.51m:細粒凝灰岩が分布する。 51.45m:厚さ約5.1cmのラーム(S-10)がある。 51.75m~52.06m:細粒凝灰岩が分布する。 51.94m:厚さ約1.4cmのラーム様の物質があるが、ラームの可能性が低い。 53.50m~53.71m:細片状コア。							
31								100	94	100								
32								100	55	96								
33								100	40	97								
34								100	94	95								
35								100	74	96								
36								100	52	84								
37								100	100	100								
38								100	100	100								
39								100	55	98								
40								100	44	91								
41								100	36	91								
42								100	64	85								
43								100	84	94								
44								100	94	95								
45								100	94	100								
46								100	94	96								
47								100	74	100								
48								100	34	93								
49								100	68	84								
50								100	42	67								
51								51.09	-26.86	100		45	鼻国間層 下部層	粗粒凝灰岩	灰	100	71	100
52								52.06	-27.83	100		35				97		
53								53.47	-29.24	100		100				100		
54								53.96	-29.73	100		42				93		
55								54.60	-30.37	100		21				94		
56										100		42				93		
57										100		14				71		
58										100		26				96		
59										100		40				96		
60										100		36				56		

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、50.50m~54.60mにやや細粒で成層構造が発達する部分か認められる(P.77のコア写真参照)。

3. 地質柱状図(18/57)

Ts-8-9孔 深度0m~13m

孔名: Ts-8-9		孔口標高: T.P.35.84m		掘削長: 13.00m		(1 - 1)					
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
0	0.59	35.26	丁	第四系	腐植土	-	褐黒	100			2.95m~9.98m: 風化により軟質化している。
1	1.88	33.96	丁		ローム			褐	100		
2	2.95	32.89	〇	易固間層 上部層	段丘堆積物		暗灰/暗褐	100			6.93m~6.98m: 細粒凝灰岩が分布する。
3			〇		淡灰色火山凝灰岩	PR(V)	灰黒/淡黄褐	100			
4			〇					100			5.47m~5.48m: 細粒凝灰岩が分布する。 5.48m: 厚さ約1.1cmのシームがある。
5			〇		100			6.93m~6.98m: 細粒凝灰岩が分布する。			
6			〇		100				5.47m~5.48m: 細粒凝灰岩が分布する。 5.48m: 厚さ約1.1cmのシームがある。		
7	6.98	28.86	〇		凝灰角礫岩	tb	灰黒・褐黒 /淡黄灰	100			
8			〇					100			5.47m~5.48m: 細粒凝灰岩が分布する。 5.48m: 厚さ約1.1cmのシームがある。
9			〇		100			6.93m~6.98m: 細粒凝灰岩が分布する。			
10			〇		100				5.47m~5.48m: 細粒凝灰岩が分布する。 5.48m: 厚さ約1.1cmのシームがある。		
11	11.63	24.21	〇		淡灰色火山凝灰岩	dtf	灰黒/淡黄灰	100			
12			〇					100			5.47m~5.48m: 細粒凝灰岩が分布する。 5.48m: 厚さ約1.1cmのシームがある。
13	13.00	22.84	〇		100			48			

(注) 成層構造が差違する部分に着目し、より詳細に観察した結果、2.95m~6.98mにやや細粒で成層構造が差違する部分が認められる。3.86m付近がビーナス-11層準(TF5-3)に相当する(P.78のコア写真参照)。

3. 地質柱状図(19/57)

cf-304孔 深度0m~15m

孔名: cf-304		孔口標高: T.P.36.00m		掘削長: 15.00m		(1 - 1)					
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
1	2.61	33.39		-	埋土	-	灰黒/暗褐/淡褐	100	0	100	
2	3.47	32.53		第四系	ロー-A 層丘堆積物	-	褐/淡褐 灰黒/暗褐	100	0	0	3.87m~10.99m: 風化により軟質化している。
3	3.87	32.13						100	0	0	
4								100	0	0	
5								100	0	0	
6								100	0	0	
7								100	0	0	
8								100	0	0	
9								100	0	0	
10								100	0	0	
11								100	0	0	
12								100	0	0	
13	13.61	22.39						100	30	90	12.69m: 傾斜角約70°, 幅約1.0cmの筋状構造がある。 13.32m~13.37m: 細粒凝灰岩が分布する。 13.59m~13.61m: 細粒凝灰岩をブロンク状に含む。
14	15.00	21.00						100	21	83	

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、9.70m~13.60mにやや細粒で成層構造が発達する部分が認められる(P.79のコア写真参照)。

3. 地質柱状図(20/57)

CB-3孔 深度0m~30m

孔名: CB-3		孔口標高: T.P.25.18m		掘削長: 110.00m (4-1)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
1	1.89	23.29	○○○	第四系	段丘堆積物	-	暗灰・褐灰/暗褐	100	0	0	1.89m~4.70m: 風化により軟質化している。
2			○○○					100	0	0	
3			○○○					100	21	33	
4			○○○					100	24	31	
5			○○○					100	68	68	
6			○○○					100	59	59	
7			○○○					100	49	49	
8			○○○					100	50	50	
9			○○○					100	47	47	
10			○○○					100	42	42	
11			○○○					100	53	53	
12			○○○					100	67	67	
13			○○○					100	56	56	
14			○○○					100	40	40	
15			○○○					100	60	60	
16			○○○					100	64	64	
17			○○○					100	65	65	
18			○○○					100	59	59	
19			○○○					100	62	62	
20			○○○					100	40	40	
21			○○○					100	82	82	
22			○○○					100	48	48	
23			○○○					100	83	83	
24			○○○					100	31	31	
25			○○○					100	163	163	
26			○○○					100	360	360	
27			○○○					100	37	37	
28			○○○					100	85	85	
29			○○○					100	78	78	
30			○○○					100			

注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、28.50m~36.65mにやや細粒で成層構造が発達する部分が発達する。29.15m付近がS-1層準(F5-3)に相当する(P.80, 81のコア写真参照)。

29.14m~29.16m: 細粒凝灰岩をレンズ状に含む。

3. 地質柱状図(21/57)

CB-3孔 深度30m~60m

孔名: CB-3		孔口標高: T.P.25.18m		掘削長: 110.00m (4-2)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
31			XXXXXX				灰黒/淡黄灰	100	40	100	36.54m~36.65m:細粒凝灰岩が分布する。
32			XXXXXX				灰黒/淡黄灰	100	46	100	
33			XXXXXX		淡灰色火山礫凝灰岩	00tF	灰黒/淡黄灰	100	58	100	
34			XXXXXX		淡灰色火山礫凝灰岩	00tF	灰黒/淡黄灰	100	55	100	
35			XXXXXX		粗粒凝灰岩/ 凝灰色火山礫凝灰岩	00tF/00tF	灰黒・地黒/ 淡黄灰	100	83	100	
36	35.98	-10.80	XXXXXX		粗粒凝灰岩/ 凝灰色火山礫凝灰岩	00tF/00tF	灰黒・地黒/ 淡黄灰	100	86	100	
37	36.22	-11.02	XXXXXX		粗粒凝灰岩/ 凝灰色火山礫凝灰岩	00tF/00tF	灰黒・地黒/ 淡黄灰	100	73	100	
38			XXXXXX				灰黒・地黒/ 淡黄灰	100	79	83	
39			XXXXXX				灰黒・地黒/ 淡黄灰	100	60	83	
40			XXXXXX				灰・灰黒・地灰/ 淡黄灰	100	24	74	
41			XXXXXX				灰・灰黒・地灰/ 淡黄灰	100	17	73	
42			XXXXXX				灰・灰黒・地灰/ 淡黄灰	100	29	85	
43			XXXXXX				灰・灰黒・地灰/ 淡黄灰	100	18	68	
44			XXXXXX		凝灰角礫岩	tb	灰・灰黒・地灰/ 淡黄灰	100	22	93	
45			XXXXXX		凝灰角礫岩	tb	灰・灰黒・地灰/ 淡黄灰	100	34	83	
46			XXXXXX		易固閉層 上部層		灰・灰黒・地灰/ 淡黄灰	100	20	81	
47			XXXXXX		易固閉層 上部層		灰・灰黒・地灰/ 淡黄灰	100	11	74	
48			XXXXXX		易固閉層 上部層		灰・灰黒・地灰/ 淡黄灰	100	13	81	
49			XXXXXX		易固閉層 上部層		灰・灰黒・地灰/ 淡黄灰	100	29	74	
50			XXXXXX		易固閉層 上部層		灰・灰黒・地灰/ 淡黄灰	100	36	81	
51	51.22	-26.04	XXXXXX		易固閉層 上部層		灰・灰黒・地灰/ 淡黄灰	100	31	68	
52			XXXXXX				灰・灰黒・地灰/ 淡黄灰	100	41	41	
53			XXXXXX				灰・灰黒・地灰/ 淡黄灰	100	41	98	
54			XXXXXX				灰・灰黒・地灰/ 淡黄灰	100	34	100	
55			XXXXXX				灰・灰黒・地灰/ 淡黄灰	100	23	85	
56			XXXXXX				灰・灰黒・地灰/ 淡黄灰	100	21	71	
57			XXXXXX				灰・灰黒・地灰/ 淡黄灰	100	37	82	
58			XXXXXX				灰・灰黒・地灰/ 淡黄灰	100	29	92	
59			XXXXXX				灰・灰黒・地灰/ 淡黄灰	100	21	59	
60			XXXXXX				灰・灰黒・地灰/ 淡黄灰	100	21	59	



3. 地質柱状図(22/57)

CB-3孔 深度60m~90m

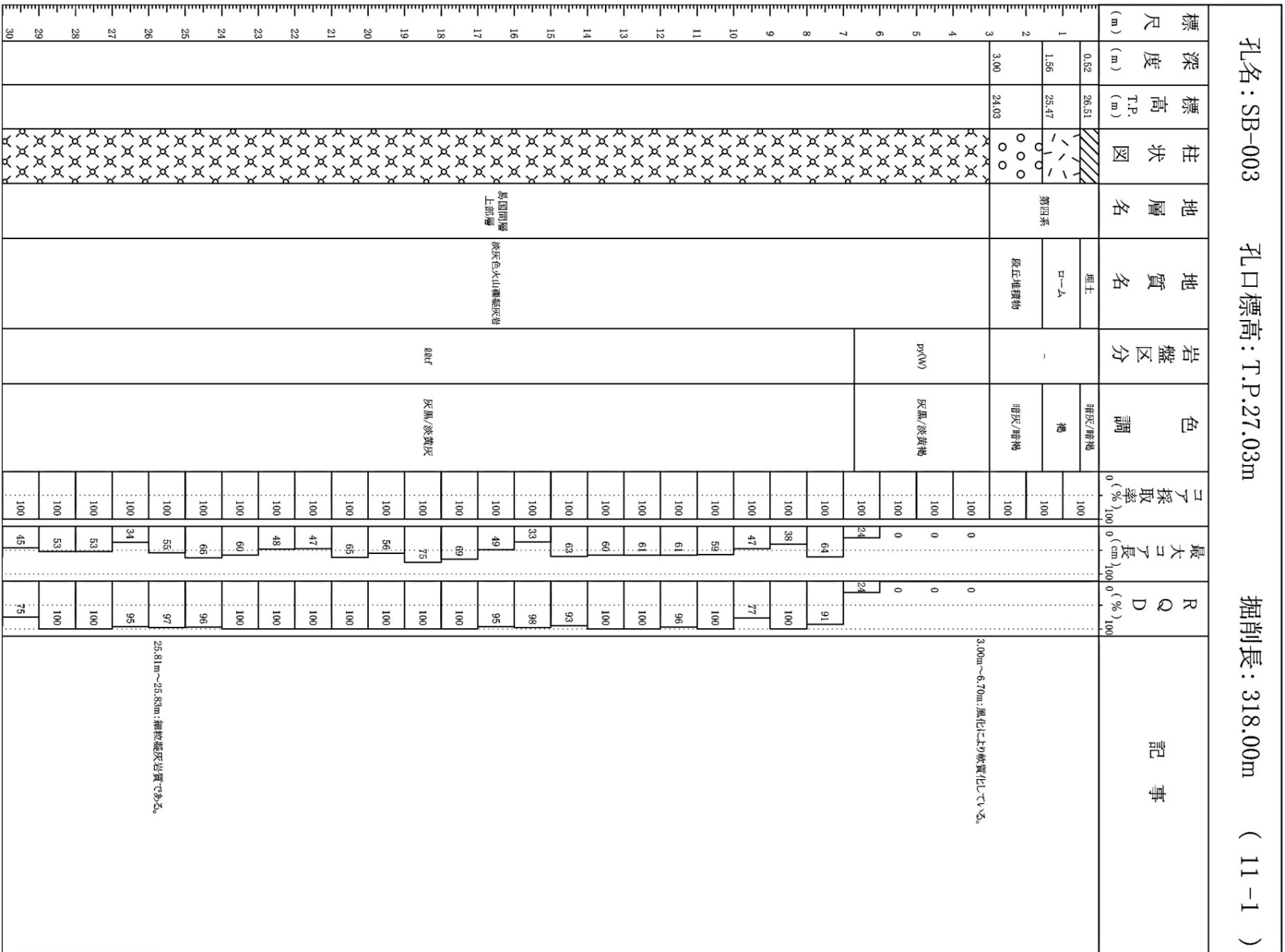
孔名: CB-3		孔口標高: T.P.25.18m		掘削長: 110.00m (4-3)								
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事	
61				易国間層 上部層	凝灰色火山凝灰岩	d0uf	灰黒/凝灰	100	57	69	60.99m~61.00m: 灰白色を呈する細粒凝灰岩が分布する。	
62								100	23	91		
63								100	25	68		
64								100	29	68		
65								100	59	87		
66	66.42	-41.24						100	22	90		66.42m~66.45m: 細粒凝灰岩が分布する。 66.45m: 厚さ約2.1cmの「A(S-10)」がある。
67	66.72	-41.54						100	19	90		
68	68.35	-43.17						100	23	95		78.36m~89.61m: 凝灰岩~岩片状コアを主体とする。
69	68.78	-43.60						100	39	95		
70								100	59	76		
71								100	23	91		
72								100	39	90		
73			100	40	91							
74			100	62	99							
75			100	45	100							
76			100	34	44							
77			100	6	0							
78	78.36	-53.18	100	11	11							
79			100	13	23							
80			100	11	22							
81			100	13	40							
82			100	15	35							
83			100	11	42							
84			100	16	42							
85			100	13	40							
86			100	25	59							
87			100	22	46							
88			100	13	25							
89			100	13	25							
90			100	13	25							

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、65.30m~66.72mにやや細粒で成層構造が発達する部分がある(図P.82のコア写真参照)。



3. 地質柱状図(23/57)

SB-003孔 深度0m~30m



孔名: SB-003 孔口標高: T.P.27.03m 掘削長: 318.00m (11-1)

25.81m~25.83m:細粒凝灰岩質である。

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、25.80m~33.17mにやや細粒で成層構造が発達する部分が発見される。25.82m付近が「S-11層準(T5-3)」に相当する(P.83, 84のコア写真参照)。

3. 地質柱状図(24/57)

SB-003孔 深度30m~60m

孔名: SB-003		孔口標高: T.P.27.03m		掘削長: 318.00m (11 -2)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
31			XXXXXX	易固間層 上部層	凝灰角礫岩	aqt	灰黒・褐黒 /淡黄灰	100	64	94	32.85m~32.86m:細粒凝灰岩がレンズ状に分布する。 33.16m~33.17m:細粒凝灰岩がレンズ状に分布する。
32			XXXXXX					100	62	92	
33	33.17	-6.14	XXXXXX					100	45	100	
34			XXXXXX					100	72	89	
35			XXXXXX					100	51	93	
36			XXXXXX					100	52	91	
37			XXXXXX					100	48	95	
38			XXXXXX					100	41	94	
39			XXXXXX					100	75	100	
40			XXXXXX					100	39	100	
41			XXXXXX	100	38	94					
42			XXXXXX	100	65	100					
43			XXXXXX	100	40	83					
44			XXXXXX	100	44	95					
45			XXXXXX	100	90	100					
46			XXXXXX	100	57	100					
47			XXXXXX	100	52	93					
48	47.79	-20.76	XXXXXX	100	61	94					
49			XXXXXX	100	56	100					
50			XXXXXX	100	68	100					
51			XXXXXX	100	63	91					
52			XXXXXX	100	57	94					
53			XXXXXX	100	58	100					
54			XXXXXX	100	42	95					
55			XXXXXX	100	54	97					
56			XXXXXX	100	60	100					
57			XXXXXX	100	72	93					
58			XXXXXX	100	30	94					
59			XXXXXX	100	52	100					
60			XXXXXX	100							

3. 地質柱状図(26/57)

SB-004孔 深度0m~30m

標尺 (m)		標高 (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
1	1.21	19.02	Y Y Y	第四系	腐植土 ローム	-	褐黒 褐	100	0	0	2.00m~6.17m:風化により軟質化している。
2	2.00	18.23						段丘堆積物	暗灰/暗褐	100	
1.67	18.56	Y Y Y	第四系	段丘堆積物	-	暗灰/暗褐	暗灰/暗褐	100	28	79	6.17m:傾斜角約20°、幅約1.8cmの筋状構造がある。
2.00	18.23							100	0	0	
3								100	0	0	
4								100	0	0	
5								100	0	0	
6								100	0	0	
7								100	86	86	
8								100	35	87	
9								100	53	91	
10								100	34	100	
11								100	45	100	
12								100	32	100	
13								100	52	97	
14								100	59	100	
15								100	77	92	
16								100	94	94	
17								100	82	98	
18								100	41	100	
19								100	69	100	
20								100	69	99	
21								100	44	100	
22								100	63	100	
23								100	46	91	
24								100	41	93	
25								100	66	95	
26								100	56	97	
27								100	77	96	
28								100			
29								100			
30								100			

孔名: SB-004 孔口標高: T.P.20.23m

掘削長: 360.00m (12-1)

22.71m~23.84m:傾斜角約80°~約90°、幅約0.5cmの筋状構造がある。



3. 地質柱状図(28/57)

SB-004孔 深度60m~90m

孔名: SB-004		孔口標高: T.P.20.23m		掘削長: 360.00m (12-3)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
61			XXXXXX					100	39	100	
62			XXXXXX					100	54	94	
63			XXXXXX					100	23	94	
64			XXXXXX					100	52	100	
65	64.83	-44.60	XXXXXX					100	60	100	
66			XXXXXX					100	66	96	
67			XXXXXX					100	61	91	
68			XXXXXX					100	65	100	
69			XXXXXX					100	58	100	
70			XXXXXX					100	100	100	
71			XXXXXX					100	55	100	
72			XXXXXX					100	40	92	
73			XXXXXX					100	53	91	
74			XXXXXX					100	40	100	
75			XXXXXX					100	54	100	
76			XXXXXX					100	43	100	
77			XXXXXX					100	63	100	
78			XXXXXX					100	58	100	
79			XXXXXX					100	58	95	
80			XXXXXX					100	68	100	
81			XXXXXX					100	48	96	
82			XXXXXX					100	66	100	
83			XXXXXX					100	58	93	
84			XXXXXX					100	48	100	
85			XXXXXX					100	39	100	
86			XXXXXX					100	95	95	
87			XXXXXX					100	70	89	
88			XXXXXX					100	40	100	
89			XXXXXX					100	65	100	
90			XXXXXX					100		100	

注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、88.20m~90.78mにやや細粒で成層構造が発達する部分が認められる(P.88, 89のコア写真参照)。

3. 地質柱状図(29/57)

SB-004孔 深度90m~120m

孔名: SB-004		孔口標高: T.P.20.23m		掘削長: 360.00m (12-4)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
90.43		-70.20	△△△△	急斜面層上部層	淡灰色火山礫凝灰岩	d&t	灰黒/淡黄灰	78	34	58	90.34m~90.43m:粗粒凝灰岩が分布する。
90.78		-70.55	△△△△		粗粒凝灰岩/ 暗灰色火山礫凝灰岩	nt/d&t	灰黒/黄灰・暗黄灰	0	0	0	90.43m~90.50m:粗粒凝灰岩が分布する。 90.46m:厚さ約6.0cmのレンズ(L-10)がある。
92		-72.82	△△△△		暗灰色火山礫凝灰岩	d&t	灰黒/暗黄灰	0	0	58	90.78m~92.42m:細片状コア。
93		-72.82	△△△△					100	17	58	92.88m~92.89m:細粒凝灰岩が分布する。
94			△△△△					100	19	59	93.01m~93.05m:細粒凝灰岩が分布する。
95			△△△△					100	18	33	93.34m~94.00m:岩片状コア。
96			△△△△					100	16	42	94.75m~96.22m:岩片状コア。
97			△△△△					100	12	24	
98			△△△△					100	18	33	
99			△△△△					100	16	42	
100			△△△△					100	12	24	
101			△△△△					100	16	30	
102			△△△△					100	12	12	103.00m~103.44m:岩片状コア。
103			△△△△					100	9	0	103.90m~104.86m:岩片状コア。
104			△△△△					100	0	0	
105			△△△△					100	0	0	104.95m~106.03m:岩片状コア。
106			△△△△					100	13	34	
107			△△△△					100	7	0	107.08m~107.71m:岩片状コア。
108			△△△△					100	15	25	107.71m~116.05m:短柱状コアを主体とする。
109			△△△△					100	14	25	
110			△△△△					100	14	25	
111			△△△△					100	11	48	
112			△△△△					100	11	11	
113			△△△△					100	14	14	
114			△△△△					100	12	35	
115			△△△△					100	11	11	
116			△△△△					100	47	92	116.05m~116.05m:安山岩溶岩の急斜面層相が認められる。
117			△△△△					100	23	86	116.05m~116.13m:粗粒凝灰岩が分布する。
118			△△△△					100	21	75	
119			△△△△					100	66	100	
120			△△△△					100			

3. 地質柱状図(30/57)

SB-006孔 深度0m~30m

標尺 (m)		深度 (m)	標高 (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事	
1	0.45	2.31	30.28		第四系	腐植土	-	黒褐色	100	0	100	3.53m~13.00m:風化による軟質化している。	
2	2.31	28.42	27.20			ローム		暗灰/暗褐色	暗灰/暗褐色	100	0		0
3	3.53	27.20			段丘堆積物			100	0	0			
4					第四系				100	0	100		
5									100	0	100		
6									100	0	100		
7									100	0	100		
8									100	0	100		
9									100	0	100		
10									100	0	100		
11									100	0	100		
12					第四系				100	0	100		
13					第四系				100	38	100		
14									100	48	98		
15									100	55	100		
16									100	46	98		
17									100	43	100		
18									100	58	100		
19									100	52	93		
20									100	100	100		
21									100	60	96		
22									100	100	100		
23									100	88	98		
24									100	60	100		
25									100	93	93		
26									100	43	100		
27									100	30	97		
28									100	56	100		
29									100	95	95		
30									100				

孔名: SB-006 孔口標高: T.P.30.73m 掘削長: 174.00m (6 - 1)

3. 地質柱状図(31/57)

SB-006孔 深度30m~60m

孔名: SB-006		孔口標高: T.P.30.73m		掘削長: 174.00m (6-2)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
31	46.40	-15.67	[Pattern]	易固間層 上部層	淡灰色火山礫層状岩	d&t	灰黒/淡黄灰	100	83	100	45.55m:傾斜角約90°, 幅約0.6cmの筋状構造がある。 45.91m~45.93m:細粒凝灰岩が分布する。 46.00m:傾斜角約80°, 幅約1.0cmの変位を伴う筋状構造がある。 見掛けの断面変位量は約5.0cmである。 46.27m~46.40m:細粒凝灰岩と淡灰色火山礫層状岩との互層が分布する。
30								100	54	100	
29	46.11	-26.38	[Pattern]	易固間層	凝灰角礫岩	tb	褐灰・灰/淡黄灰	100	94	94	
28								100	95	100	
27	46.11	-26.38	[Pattern]	易固間層	凝灰角礫岩	d&t	灰黒/淡黄灰	100	94	100	
26								100	95	100	
25	46.11	-26.38	[Pattern]	易固間層	凝灰角礫岩	d&t	灰黒/淡黄灰	100	94	100	
24								100	95	100	
23	46.11	-26.38	[Pattern]	易固間層	凝灰角礫岩	d&t	灰黒/淡黄灰	100	94	100	
22								100	95	100	
21	46.11	-26.38	[Pattern]	易固間層	凝灰角礫岩	d&t	灰黒/淡黄灰	100	94	100	
20								100	95	100	
19	46.11	-26.38	[Pattern]	易固間層	凝灰角礫岩	d&t	灰黒/淡黄灰	100	94	100	
18								100	95	100	
17	46.11	-26.38	[Pattern]	易固間層	凝灰角礫岩	d&t	灰黒/淡黄灰	100	94	100	
16								100	95	100	
15	46.11	-26.38	[Pattern]	易固間層	凝灰角礫岩	d&t	灰黒/淡黄灰	100	94	100	
14								100	95	100	
13	46.11	-26.38	[Pattern]	易固間層	凝灰角礫岩	d&t	灰黒/淡黄灰	100	94	100	
12								100	95	100	
11	46.11	-26.38	[Pattern]	易固間層	凝灰角礫岩	d&t	灰黒/淡黄灰	100	94	100	
10								100	95	100	
9	46.11	-26.38	[Pattern]	易固間層	凝灰角礫岩	d&t	灰黒/淡黄灰	100	94	100	
8								100	95	100	
7	46.11	-26.38	[Pattern]	易固間層	凝灰角礫岩	d&t	灰黒/淡黄灰	100	94	100	
6								100	95	100	
5	46.11	-26.38	[Pattern]	易固間層	凝灰角礫岩	d&t	灰黒/淡黄灰	100	94	100	
4								100	95	100	
3	46.11	-26.38	[Pattern]	易固間層	凝灰角礫岩	d&t	灰黒/淡黄灰	100	94	100	
2								100	95	100	
1	46.11	-26.38	[Pattern]	易固間層	凝灰角礫岩	d&t	灰黒/淡黄灰	100	94	100	
0								100	95	100	

注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、37.40m~38.50m、40.70m~46.40mにやや細粒で成層構造が発達する部分が認められる。37.50m付近がP-S-11層準(T5-3)に相当する(P91のコア写真参照)。

3. 地質柱状図(32/57)

SB-006孔 深度60m~90m

孔名: SB-006		孔口標高: T.P.30.73m		掘削長: 174.00m (6-3)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
61			XXXXXX	馬国間層 上部層	凝灰色火山礫凝灰岩	dqt	灰黒/淡黄灰	100	55	96	70.29m~70.25m: 細粒凝灰岩が分布する。 70.32m: 厚さ約6.6cmの「A」(S-10)がある。
62			XXXXXX					100	82	100	
63			XXXXXX					100	79	100	
64			XXXXXX					100	69	100	
65			XXXXXX					100	63	100	
66			XXXXXX					100	57	100	
67			XXXXXX					100	59	92	
68			XXXXXX					100	42	93	
69			XXXXXX					100	34	82	
70	70.29	-39.56	XXXXXX					100	33	45	
71	70.73	-40.00	XXXXXX	馬国間層 下部層	細粒凝灰岩/粗粒凝灰岩 /凝灰色火山礫凝灰岩	dqt / dqt	灰黒/暗黄灰 / 暗灰/暗黄灰	100	17	42	71.59m: 細粒凝灰岩を「フロック」状に含む。 71.81m~71.91m: 細粒凝灰岩が分布する。 71.97m~71.99m: 細粒凝灰岩が分布する。
72	71.99	-41.26	XXXXXX					100	17	33	
73			XXXXXX	馬国間層 下部層	安山岩溶岩(角礫状)	bqv	灰黒/暗黄灰	100	12	34	72.70m~72.91m: 岩片状コア。 73.67m~79.28m: 短柱状~岩片状コアを主体とする。
74	73.67	-42.94	XXXXXX					100	17	10	
75			XXXXXX					100	13	53	
76			XXXXXX					100	17	10	
77			XXXXXX					100	25	87	
78			XXXXXX					100	16	16	
79	79.28	-48.55	XXXXXX					100	30	63	
80			XXXXXX					100	37	97	
81			XXXXXX					100	26	50	
82			XXXXXX					100	24	91	
83			XXXXXX	馬国間層 下部層	安山岩溶岩(角礫状)	bqv	灰黒/暗黄灰	100	15	38	84.00m~92.68m: 短柱状~岩片状コアを主体とする。
84	84.00	-53.27	XXXXXX					100	19	19	
85			XXXXXX					100	13	13	
86			XXXXXX					100	13	13	
87			XXXXXX					100	16	32	
88			XXXXXX					100	13	39	
89			XXXXXX					100	13	13	
90			XXXXXX					100	11	13	

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、68.65m~71.99mにやや細粒で成層構造が発達する部分が発見される(P.92のコア写真参照)。

3. 地質柱状図(33/57)

SB-007孔 深度0m~30m

標尺 (m)		深度 (m)		標高 T.P. (m)		柱状図		地層名		地質名		岩盤区分		色調		コア採取率 (%)		最大コア長 (cm)		RQD (%)		記事	
1	0.67			33.83		Y Y		腐植土		黒褐色		100	100	40	100							4.00m~13.00m: 風化により軟質化してV ₂ 。	
2	2.34			32.16		○ ○ ○ ○	第四系	ローA	-	褐色		100	100	69	92								
3	4.00			30.50		○ ○ ○ ○		段丘堆積物		暗灰/暗褐色		100	100	30	61								
4						X X X X						100	100	40	100								
5						X X X X						100	100	69	92								
6						X X X X						100	100	30	61								
7						X X X X						100	100	59	90								
8						X X X X						100	100	75	100								
9						X X X X						100	100	57	100								
10						X X X X						100	100	100	100								
11						X X X X						100	100	57	100								
12						X X X X						100	100	100	100								
13						X X X X						100	100	59	100								
14						X X X X						100	100	53	100								
15						X X X X						100	100	59	98								
16						X X X X						100	100	56	100								
17						X X X X						100	100	40	90								
18						X X X X						100	100	61	100								
19						X X X X						100	100	60	100								
20						X X X X						100	100	76	96								
21						X X X X						100	100	79	100								
22						X X X X						100	100	64	100								
23						X X X X						100	100	62	100								
24						X X X X						100	100	63	100								
25						X X X X						100	100	63	100								
26						X X X X						100	100	39	100								
27						X X X X						100	100	60	100								
28						X X X X						100	100	52	100								
29						X X X X						100	100	42	100								
30						X X X X						100	100	42	98								

孔名: SB-007 孔口標高: T.P.34.50m 掘削長: 290.00m (10-1)

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、26.80m~30.50mにやや細粒で成層構造が発達する部分が発達する。20.80m付近がS-1層準(T5-3)に相当する(P.93, 94)のコア写真参照。

3. 地質柱状図 (34/57)

SB-007孔 深度30m~60m

標尺 (m)		深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
31	30.54	3.96			奥国間層 上部層	凝灰角礫岩	tb	淡黄褐色 灰黒・褐灰 / 凝灰灰	100	38	83	30.44m~30.54m: 細粒凝灰灰が分布する。
32			100						40	91		
33				100	55	91						
34				100	51	100						
35				100	37	100						
36				100	75	100						
37				100	42	100						
38				100	25	100						
39	39.47	-4.97		100	67	100						
40				100	35	96						
41				100	56	92						
42				100	39	90						
43				100	90	100						
44				100	43	100						
45				100	63	100						
46				100	46	100						
47				100	54	100						
48				100	48	100						
49				100	39	100						
50				100	69	100						
51				100	68	100						
52				100	76	86						
53	52.90 53.18 53.62	-18.40 -18.68 -19.12			奥国間層 下部層	粗粒凝灰灰 凝灰角礫岩/ 粗粒凝灰灰	ctf dtf/dtf/ctf	灰 灰黒/黄灰・ 暗黄灰・暗灰	100	26	81	53.18m~53.25m: 細粒凝灰灰が分布する。 53.21m: 厚さ約5.4cmのラーA(S-10)がある。 54.37m~54.58m: 細粒凝灰灰が分布する。 54.46m: 厚さ約1.6cmのラーAがある。
54	54.37	-19.87	100						45	85		
55	54.98	-20.48	100						57	92		
56			100						51	95		
57				100	51	100						
58				100	51	100						
59				100	29	73						
60				100	76	100						

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、52.30m~54.98mにやや細粒で成層構造が発達する部分が発達する(P.94のコア写真参照)。

孔名: SB-007 孔口標高: T.P.34.50m 掘削長: 290.00m (10 - 2)

3. 地質柱状図(35/57)

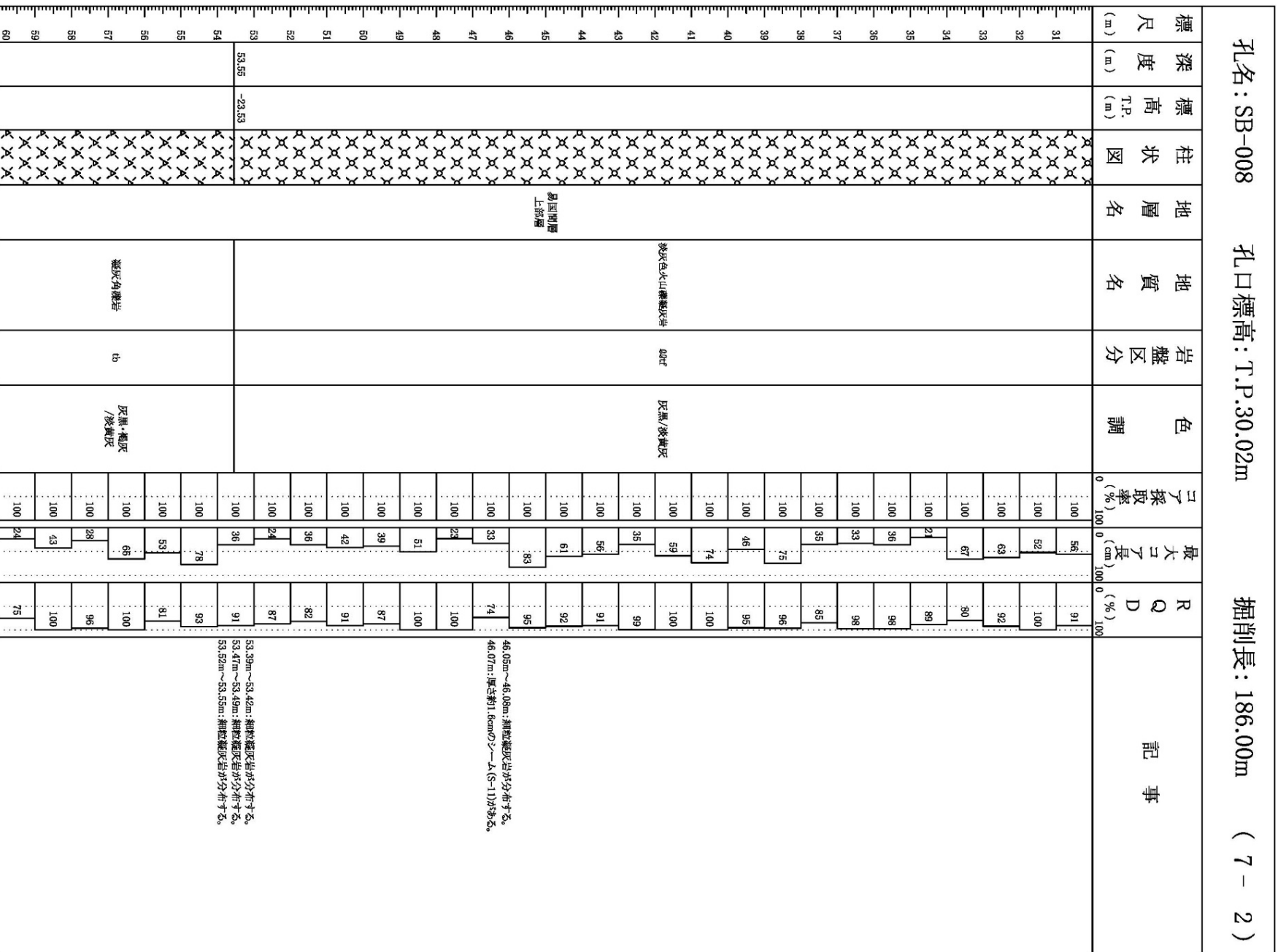
SB-008孔 深度0m~30m

孔名: SB-008		孔口標高: T.P.30.02m		掘削長: 186.00m (7-1)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
30											27.40m~27.42m: 傾斜角約45°, 幅約1cmの層状構造がある。 27.42m: 開口した割れ目がある。 28.71m: 開口した割れ目がある。 28.71m~28.73m: 傾斜角約35°, 幅約2cmの層状構造がある。
29											
28											
27											
26											
25											
24											
23											
22											
21											
20											
19											
18											
17											
16											
15											
14											
13											
12											
11											
10											
9											
8											
7											
6	6.28	23.74									
5				第四系	灰土堆積物		暗灰/灰褐色/暗褐色	100			
4	4.26	25.76					褐色	100			
3	3.00	27.02					暗灰/暗褐色	100			
2								100			
1								100			
0								100			

6.28m~19.77m: 風化により軟質化している。

3. 地質柱状図(36/57)

SB-008孔 深度30m~60m



注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、46.05m~47.75m, 52.18m~53.55mにやや細粒で成層構造が発達する部分認められる(P.96のコマ写真参照)。

孔名: SB-008

孔口標高: T.P.30.02m

掘削長: 186.00m

(7 - 2)

3. 地質柱状図(37/57)

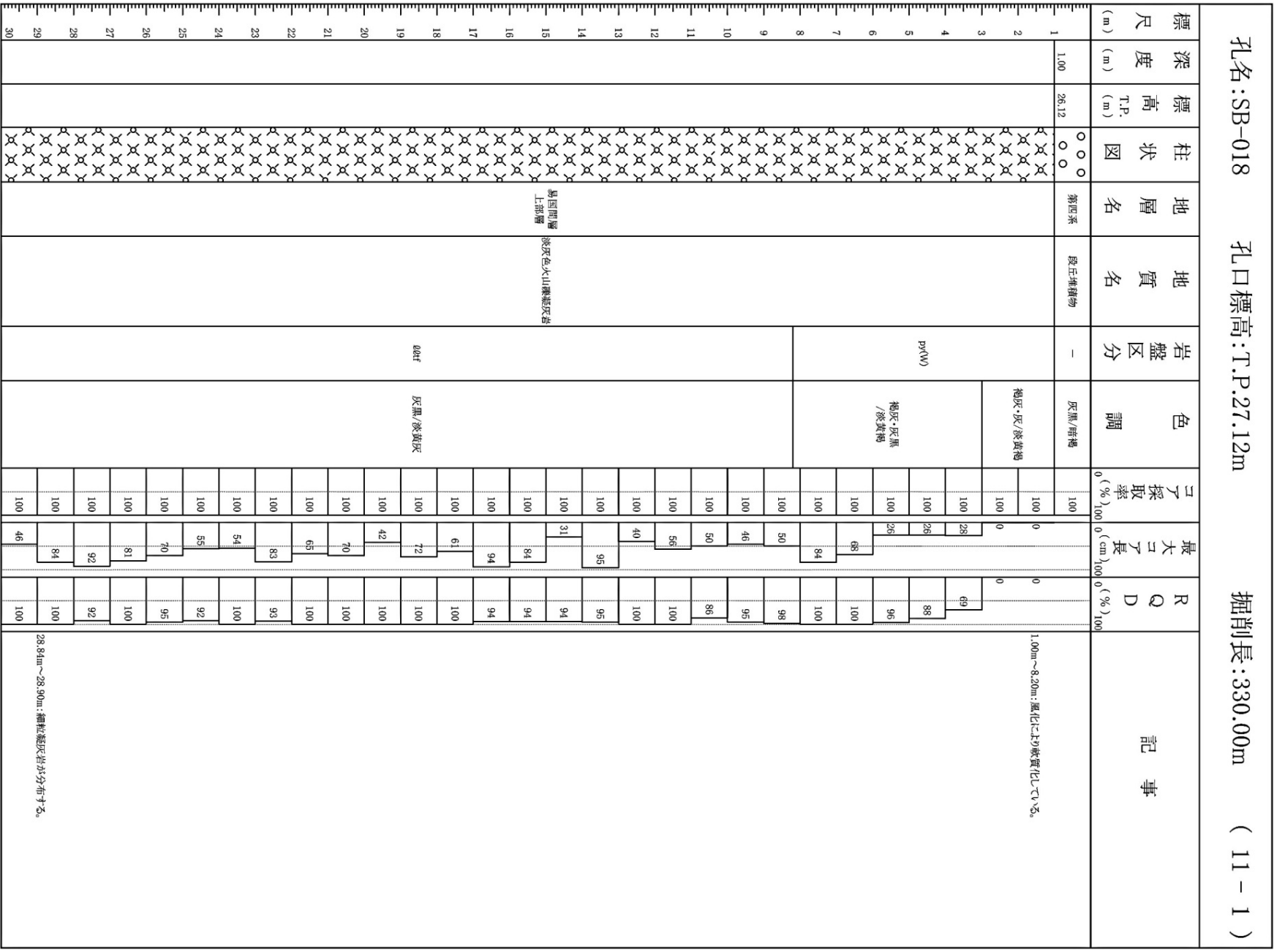
SB-008孔 深度60m~90m

孔名: SB-008		孔口標高: T.P.30.02m		掘削長: 186.00m		(7 - 3)					
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
61	66.36	-36.34	[X-pattern]	島田層	凝灰角礫岩	tb	灰黒・褐灰 / 淡黄灰	100	51	91	71.35m~71.64m: 岩片状コア。 72.15m: 傾斜角約80°、幅約1cmの脈状構造がある。 72.50m: 傾斜角約80°、幅約1cmの脈状構造がある。 73.32m: 傾斜角約40°、幅約0.7cmの脈状構造がある。
60								100	50	100	
65	79.69	-49.67	[X-pattern]	島田層	凝灰色火山凝灰岩	dat	灰黒・黄灰・ 暗黄灰・灰	100	49	97	79.69m~79.72m: 細粒凝灰岩が分布する。 79.73m: 厚さ約0.3cmのベンダー(S-10)がある。
66								100	62	100	
67	80.48	-50.46	[X-pattern]	島田層	凝灰色火山凝灰岩	dat	灰黒・黄灰・ 暗黄灰・灰	100	48	100	83.54m: 傾斜角約60°~約70°の脈状構造(c-f)がある。 脈状構造は約10cmであるが、その内側は固結している。
68								100	64	100	
69	79.69	-49.67	[X-pattern]	島田層	凝灰色火山凝灰岩	dat	灰黒・黄灰・ 暗黄灰・灰	100	40	100	79.69m~80.48m: 凝灰岩が分布する。 79.73m: 厚さ約0.3cmのベンダー(S-10)がある。
70								100	49	100	
71	79.69	-49.67	[X-pattern]	島田層	凝灰色火山凝灰岩	dat	灰黒・黄灰・ 暗黄灰・灰	100	32	74	79.69m~80.48m: 凝灰岩が分布する。 79.73m: 厚さ約0.3cmのベンダー(S-10)がある。
72								100	22	50	
73	79.69	-49.67	[X-pattern]	島田層	凝灰色火山凝灰岩	dat	灰黒・黄灰・ 暗黄灰・灰	100	60	100	79.69m~80.48m: 凝灰岩が分布する。 79.73m: 厚さ約0.3cmのベンダー(S-10)がある。
74								100	37	100	
75	79.69	-49.67	[X-pattern]	島田層	凝灰色火山凝灰岩	dat	灰黒・黄灰・ 暗黄灰・灰	100	41	100	79.69m~80.48m: 凝灰岩が分布する。 79.73m: 厚さ約0.3cmのベンダー(S-10)がある。
76								100	45	100	
77	79.69	-49.67	[X-pattern]	島田層	凝灰色火山凝灰岩	dat	灰黒・黄灰・ 暗黄灰・灰	100	50	82	79.69m~80.48m: 凝灰岩が分布する。 79.73m: 厚さ約0.3cmのベンダー(S-10)がある。
78								100	73	92	
79	79.69	-49.67	[X-pattern]	島田層	凝灰色火山凝灰岩	dat	灰黒・黄灰・ 暗黄灰・灰	100	73	100	79.69m~80.48m: 凝灰岩が分布する。 79.73m: 厚さ約0.3cmのベンダー(S-10)がある。
80								100	100	92	
81	79.69	-49.67	[X-pattern]	島田層	凝灰色火山凝灰岩	dat	灰黒・黄灰・ 暗黄灰・灰	100	69	92	79.69m~80.48m: 凝灰岩が分布する。 79.73m: 厚さ約0.3cmのベンダー(S-10)がある。
82								100	39	99	
83	79.69	-49.67	[X-pattern]	島田層	凝灰色火山凝灰岩	dat	灰黒・黄灰・ 暗黄灰・灰	100	54	80	79.69m~80.48m: 凝灰岩が分布する。 79.73m: 厚さ約0.3cmのベンダー(S-10)がある。
84								100	58	94	
85	79.69	-49.67	[X-pattern]	島田層	凝灰色火山凝灰岩	dat	灰黒・黄灰・ 暗黄灰・灰	100	43	60	79.69m~80.48m: 凝灰岩が分布する。 79.73m: 厚さ約0.3cmのベンダー(S-10)がある。
86								100	76	76	
87	79.69	-49.67	[X-pattern]	島田層	凝灰色火山凝灰岩	dat	灰黒・黄灰・ 暗黄灰・灰	100	40	97	79.69m~80.48m: 凝灰岩が分布する。 79.73m: 厚さ約0.3cmのベンダー(S-10)がある。
88								100	34	100	
89	79.69	-49.67	[X-pattern]	島田層	凝灰色火山凝灰岩	dat	灰黒・黄灰・ 暗黄灰・灰	100	31	89	79.69m~80.48m: 凝灰岩が分布する。 79.73m: 厚さ約0.3cmのベンダー(S-10)がある。
90								100	70	100	

注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、79.45m~80.48mにやや細粒で成層構造が発達する部分が認められる(P.97のコ写真参照)。

3. 地質柱状図(38/57)

SB-018孔 深度0m~30m



(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、28.55m~29.40mにやや細粒で成層構造が発達する部分
が認められる。28.87m付近が「S-11層準(F15-3)」に相当する(P.98のコア写真参照)。

3. 地質柱状図(39/57)

SB-018孔 深度30m~60m

孔名: SB-018		孔口標高: T.P.27.12m		掘削長: 330.00m (11 - 2)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
31	36.80	-9.68	[Pattern]	易固間層 上部層	凝灰角礫岩	alt	灰黒・淡黄灰	100	55	100	36.08m~36.15m:粗粒凝灰岩が分布する。 36.69m~36.80m:細粒凝灰岩が分布する。
30								100	31	100	
29	49.68	-22.56	[Pattern]	易固間層 上部層	凝灰角礫岩	alt	灰黒・淡黄灰	100	68	100	
28								100	76	90	
27								100	68	93	
26								100	70	90	
25								100	76	96	
24								100	46	96	
23								100	54	100	
22								100	68	100	
21								100	31	100	
20								100	39	100	
19	100	53	98								
18	100	43	100								
17	100	71	100								
16	100	91	91								
15	100	69	100								
14	100	71	96								
13	100	40	93								
12	100	44	83								
11	100	44	100								
10	100	65	100								
9	100	45	100								
8	100	44	91								
7	100	61	100								
6	100	61	97								
5	100	45	97								
4	100	38	93								
3	100	54	100								
2	100	51	94								
1	100	62	93								
0	100	67	100								
60	100	54	100								

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、32.25m~36.80mにやや細粒で成層構造が発達する部分が発見される(P.99のコ写真参照)。

3. 地質柱状図(40/57)

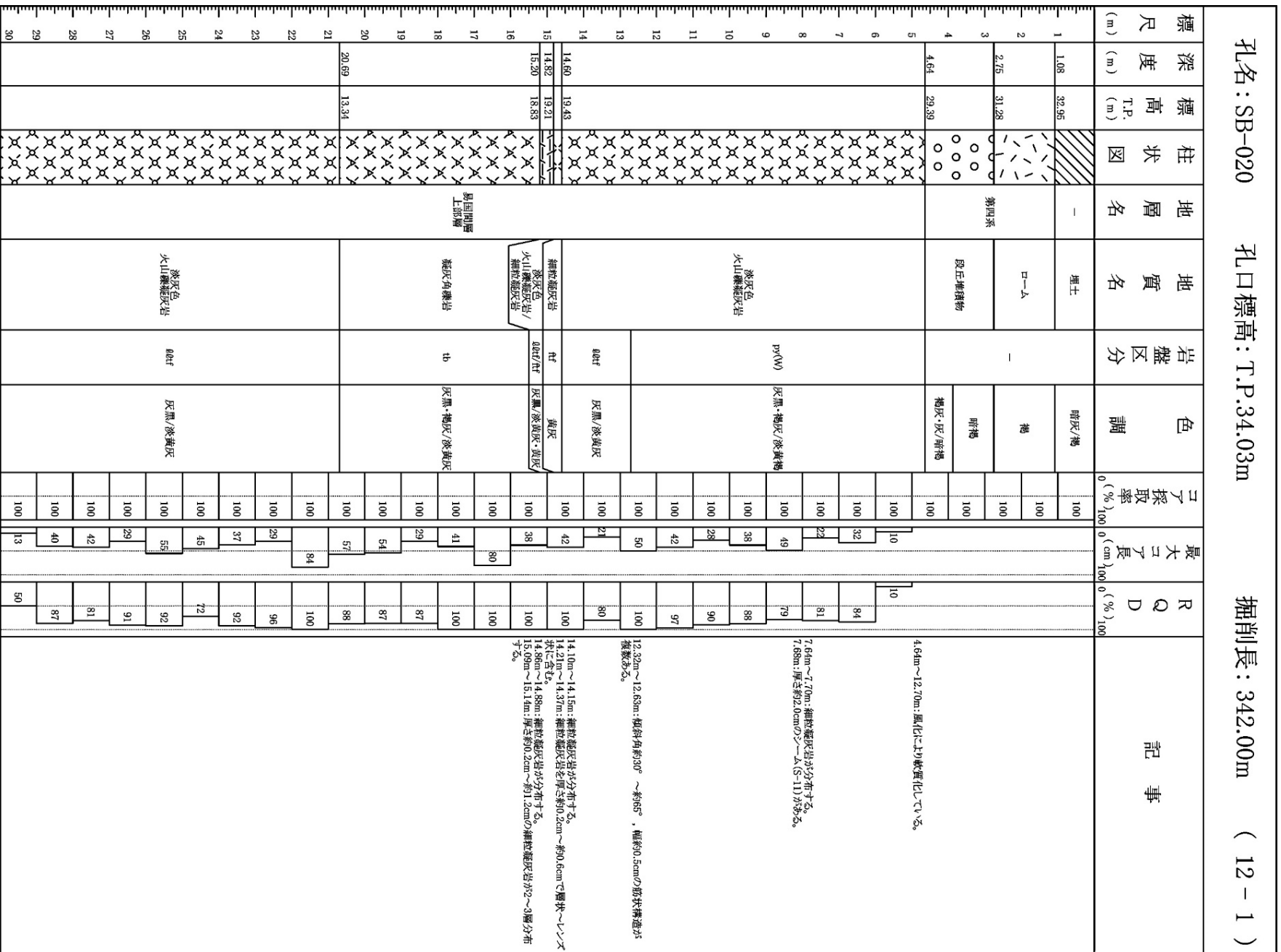
SB-018孔 深度60m~90m

孔名: SB-018		孔口標高: T.P.27.12m		掘削長: 330.00m (11 - 3)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
64	64.23	-37.11	易固間層 上部層	易固間層 上部層	淡灰色火山礫凝灰岩	d0t	灰黒/淡黄灰	100	94	100	64.23m~64.23m: 細粒凝灰岩が分布する。 64.25m: 厚さ約3.8cmのラズル(S-10)がある。
65	64.89	-37.88						100	100		
66	65.76	-38.64	易固間層 下部層	易固間層 下部層	暗灰色火山礫凝灰岩	d0t	灰黒・灰/暗黄灰 粗灰	100	34	84	65.54m: 細粒凝灰岩をコアコア中に含む。 65.61m~65.77m: 細粒凝灰岩が分布する。
67	66.63	-39.51						100	76	76	
68	67.50	-40.38	易固間層 下部層	易固間層 下部層	安山岩溶岩(角礫状)	b0v	灰黒/暗黄灰	100	31	94	70.85m~78.50m: 短柱状~岩片状コアを主体とする。
69	68.37	-41.25						100	35	100	
70	69.24	-42.12						100	22	91	
71	70.11	-42.99						100	37	92	
72	70.98	-43.86						100	20	92	
73	71.85	-44.73						100	16	53	
74	72.72	-45.60						100	11	11	
75	73.59	-46.47						100	15	38	
76	74.46	-47.34						100	12	12	
77	75.33	-48.21						100	19	57	
78	76.20	-49.08	100	12	58						
79	77.07	-49.95	易固間層 下部層	易固間層 下部層	安山岩溶岩(塊状)	暗灰	mbv(i)	100	38	77	78.50m~86.48m: 柱状~短柱状コアを主体とする。
80	77.94	-50.82						100	24	65	
81	78.81	-51.69						100	20	57	
82	79.68	-52.56						100	22	54	
83	80.55	-53.43						100	25	60	
84	81.42	-54.30						100	25	95	
85	82.29	-55.17						100	22	87	
86	83.16	-56.04						100	22	87	
87	84.03	-56.91						100	29	100	
88	84.90	-57.78						易固間層 上部層	易固間層 上部層	安山岩溶岩(角礫状)	
89	85.77	-58.65	100	30	92						
90	86.64	-59.52	100	65	90						

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、63.80m~65.76mにやや細粒で成層構造が発達する部分が発見される(P.1000のコア写真参照)。

3. 地質柱状図(41/57)

SB-020孔 深度0m~30m



(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、7.30m~15.20m、26.20m~27.50m、29.80m~33.86mにやや細粒で成層構造が発達する部分が認められる(P.101、102のコア写真参照)。

3. 地質柱状図(42/57)

SB-020孔 深度30m~60m

標尺 (m)		深度 (m)		柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
31	30.91	3.12	31.46		奥国間層 上部層	淡灰色 火山礫凝灰岩	dtf	灰黒/淡黄灰	100	23	51	31.46m~31.57m:粗粒凝灰岩が分布する。 31.50m:厚さ約0.8cmの「云(S-10)」がある。 33.45m~33.52m:粗粒凝灰岩が分布する。 33.86m~36.89m:短柱状~岩片状コアを主体とする。
32	32.25	1.78	32.25			細粒凝灰岩/暗灰色 火山礫凝灰岩	dtf/dht/ctf	一・灰黒・一 灰黒/暗黄灰	100	20	48	
33	32.97	1.06	32.97	暗灰色 火山礫凝灰岩	dht	黄灰	100	41	89			
34	33.52	0.51	33.52	細粒凝灰岩 粗粒凝灰岩	ht/ctf	一・灰黒・一 /黄灰・暗黄灰 ・暗灰	100	52	93			
35	33.86	0.17	33.86	粗粒凝灰岩	ht	黄灰	100	17	59			
36	36.89	-2.86	36.89	奥国間層 下部層	安山岩溶岩 (塊状)	mbv(i)	灰黒	100	24	80		
37	47.52	-13.49	47.52	奥国間層 下部層	安山岩溶岩 (塊状)	lbr	灰黒/暗黄灰	100	28	96		
38								100	62	90		
39								100	62	90		
40								100	62	90		
41								100	62	90		
42								100	62	90		
43								100	62	90		
44								100	62	90		
45								100	62	90		
46								100	62	90		
47								100	62	90		
48								100	62	90		
49								100	62	90		
50								100	62	90		
51								100	62	90		
52								100	62	90		
53								100	62	90		
54								100	62	90		
55								100	62	90		
56								100	62	90		
57								100	62	90		
58								100	62	90		
59								100	62	90		
60								100	62	90		

孔名: SB-020 孔口標高: T.P.34.03m 掘削長: 342.00m (12-2)

3. 地質柱状図(43/57)

SB-022孔 深度0m~30m

孔名: SB-022		孔口標高: T.P.32.30m		掘削長: 215.00m (8-1)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
1	0.59	31.71	丁丁	第四系	礫層土		褐	100			5.04m~9.18m:風化により軟質化している。 9.16m~9.21m:細粒凝灰岩が分布する。 9.19m:厚さ約2.8mmのシーム(S-11)がある。
2					ローム	-		100			
3	4.02	28.28	〇〇〇		段丘堆積物		褐色・灰黒/暗褐	100			
4	5.04	27.26	〇〇〇					100			
5								100	44	100	15.92m~15.96m:細粒凝灰岩が分布する。 16.33m~16.43m:細粒凝灰岩が分布する。
6								100			
7								100	49	96	
8								100	61	97	
9								100	100	100	
10								100			
11								100	46	90	
12								100	75	100	
13								100	49	96	
14								100	76	100	
15								100	65	91	
16	16.43	15.87						100	68	96	
17								100	54	90	
18								100	43	91	
19								100	29	53	
20								100	29	69	
21								100	48	89	
22								100	20	79	
23								100	43	100	
24	23.69	8.61						100	75	88	
25								100	35	94	
26								100	34	81	
27								100	34	83	
28								100	24	81	
29								100	34	78	
30								100	32	82	

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、8.85m~10.00m、13.80m~16.43mにやや細粒で成層構造が発達する部分が認められる(P.103のコア写真参照)。

3. 地質柱状図(44/57)

SB-022孔 深度30m~60m

孔名: SB-022		孔口標高: T.P.32.30m		掘削長: 215.00m (8-2)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
31			△△△△△	奥国間層 上部層	赤灰色火山礫層灰岩	dtf	灰黒/赤黄灰	100	24	86	34.53m~34.62m:細粒凝灰岩が分布する。 34.56m:厚さ約9.1cmのソール(S-10)がある。
32			△△△△△			100	39	72			
33			△△△△△	100	38	94					
34	34.23	-1.98	△△△△△	粗粒凝灰岩	ctf	灰	100	27	50		
35	34.53	-2.23	△△△△△	粗粒凝灰岩/ 赤灰色火山礫層灰岩	dtf/dctf/ctf	黄灰・暗黄灰・暗灰	100	34	94		
36	36.64	-4.34	△△△△△	暗灰色火山礫層灰岩	dtf	灰黒/暗黄灰	100	42	91		
37	37.49	-5.19	△△△△△	粗粒凝灰岩/ 細粒凝灰岩	dtf/ctf	黄灰・暗灰	100	59	92		
38	38.43	-6.13	△△△△△	粗粒凝灰岩/ 粗粒凝灰岩/ 粗粒凝灰岩	ctf/dt/dctf	暗灰・黄灰・暗黄灰 灰黒/暗黄灰	100	46	69		
39	38.69	-6.39	△△△△△	安山岩溶岩(角礫状)	dtf		100	47	47	38.69m~42.76m:岩片状~短柱状コアを主体とする。	
40			△△△△△	奥国間層 下部層	安山岩溶岩(塊状)	mbv(i)	黒灰	100	46	79	
41			△△△△△					100	33	53	
42			△△△△△	100	32	63					
43	42.76	-10.46	△△△△△	細粒凝灰岩	dtf	黄灰	100	30	100		
44	44.37	-12.07	△△△△△	100	29	100					
45			△△△△△	100	36	100					
46			△△△△△	100	43	95					
47			△△△△△	100	46	97					
48			△△△△△	100	73	92					
49			△△△△△	100	30	100					
50			△△△△△	100	62	86					
51			△△△△△	100	57	100					
52			△△△△△	100	25	92					
53			△△△△△	100	44	95					
54			△△△△△	100	43	92					
55			△△△△△	100	46	60					
56	55.99	-23.69	△△△△△	100	26	30					
57			△△△△△	100	19	51					
58			△△△△△	100	22	69					
59			△△△△△	100	17	41					
60			△△△△△	100	13	23					

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、33.79m~35.57m、36.64m~38.43mにやや細粒で成層構造が発達する部分が認められる(P.104のコア写真参照)。

3. 地質柱状図(45/57)

SB-023孔 深度0m~30m

標尺 (m)		深度 (m)		標高 T.P. (m)		柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
1	2	1.00	11.09	0.22	11.87									
1	0.22	1.00	11.09	0.22	11.87	○	第四系	段丘堆積物	-	褐灰・灰黒/暗褐	100	0	0	1.00m~4.72m:風化により軟質化している。
2	0.22	1.00	11.09	0.22	11.87	○	第四系	段丘堆積物	pr(V)	灰黒/淡黄褐	100	18	18	4.71m~4.73m:細粒凝灰岩が分布する。 4.72m:厚さ約2.0mmのシーラ(S-11)がある。
3	0.22	1.00	11.09	0.22	11.87	○	第四系	段丘堆積物	pr(V)	灰黒/淡黄褐	100	43	75	
4	0.22	1.00	11.09	0.22	11.87	○	第四系	段丘堆積物	pr(V)	灰黒/淡黄褐	100	56	78	
5	0.22	1.00	11.09	0.22	11.87	○	第四系	段丘堆積物	pr(V)	灰黒/淡黄褐	100	49	100	
6	0.22	1.00	11.09	0.22	11.87	○	第四系	段丘堆積物	pr(V)	灰黒/淡黄褐	100	40	97	
7	0.22	1.00	11.09	0.22	11.87	○	第四系	段丘堆積物	pr(V)	灰黒/淡黄褐	100	50	100	
8	0.22	1.00	11.09	0.22	11.87	○	第四系	段丘堆積物	pr(V)	灰黒/淡黄褐	100	53	92	
9	0.22	1.00	11.09	0.22	11.87	○	第四系	段丘堆積物	pr(V)	灰黒/淡黄褐	100	67	91	
10	0.22	1.00	11.09	0.22	11.87	○	第四系	段丘堆積物	pr(V)	灰黒/淡黄褐	100	55	100	
11	0.22	1.00	11.09	0.22	11.87	○	第四系	段丘堆積物	pr(V)	灰黒/淡黄褐	100	91	91	
12	0.22	1.00	11.09	0.22	11.87	○	第四系	段丘堆積物	pr(V)	灰黒/淡黄褐	100	44	100	12.19m~12.22m:細粒凝灰岩が分布する。
13	0.22	1.00	11.09	0.22	11.87	○	第四系	段丘堆積物	pr(V)	灰黒/淡黄褐	100	35	85	12.97m~13.02m:細粒凝灰岩が分布する。
14	0.22	1.00	11.09	0.22	11.87	○	第四系	段丘堆積物	pr(V)	灰黒/淡黄褐	100	59	98	
15	0.22	1.00	11.09	0.22	11.87	○	第四系	段丘堆積物	pr(V)	灰黒/淡黄褐	100	52	92	
16	0.22	1.00	11.09	0.22	11.87	○	第四系	段丘堆積物	pr(V)	灰黒/淡黄褐	100	41	96	
17	0.22	1.00	11.09	0.22	11.87	○	第四系	段丘堆積物	pr(V)	灰黒/淡黄褐	100	60	98	
18	0.22	1.00	11.09	0.22	11.87	○	第四系	段丘堆積物	pr(V)	灰黒/淡黄褐	100	49	91	
19	0.22	1.00	11.09	0.22	11.87	○	第四系	段丘堆積物	pr(V)	灰黒/淡黄褐	100	38	96	
20	0.22	1.00	11.09	0.22	11.87	○	第四系	段丘堆積物	pr(V)	灰黒/淡黄褐	100	77	91	
21	0.22	1.00	11.09	0.22	11.87	○	第四系	段丘堆積物	pr(V)	灰黒/淡黄褐	100	30	100	
22	0.22	1.00	11.09	0.22	11.87	○	第四系	段丘堆積物	pr(V)	灰黒/淡黄褐	100	59	87	
23	0.22	1.00	11.09	0.22	11.87	○	第四系	段丘堆積物	pr(V)	灰黒/淡黄褐	100	45	100	
24	0.22	1.00	11.09	0.22	11.87	○	第四系	段丘堆積物	pr(V)	灰黒/淡黄褐	100	94	100	
25	0.22	1.00	11.09	0.22	11.87	○	第四系	段丘堆積物	pr(V)	灰黒/淡黄褐	100	75	100	
26	0.22	1.00	11.09	0.22	11.87	○	第四系	段丘堆積物	pr(V)	灰黒/淡黄褐	100	48	100	
27	0.22	1.00	11.09	0.22	11.87	○	第四系	段丘堆積物	pr(V)	灰黒/淡黄褐	100	49	91	
28	0.22	1.00	11.09	0.22	11.87	○	第四系	段丘堆積物	pr(V)	灰黒/淡黄褐	100	83	100	
29	0.22	1.00	11.09	0.22	11.87	○	第四系	段丘堆積物	pr(V)	灰黒/淡黄褐	100	54	93	
30	0.22	1.00	11.09	0.22	11.87	○	第四系	段丘堆積物	pr(V)	灰黒/淡黄褐	100	54	93	

孔名: SB-023

孔口標高: T.P.12.09m

掘削長: 90.00m

(3 - 1)

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、4.60m~5.00m、7.70m~9.35m、11.40m~13.02mにやや細粒で成層構造が発達する部分が認められる(P.105のコア写真参照)。

3. 地質柱状図(46/57)

SB-023孔 深度30m~60m

孔名: SB-023		孔口標高: T.P.12.09m		掘削長: 90.00m		(3 - 2)					
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
31			XXXXXX	鼻国間層 上部層	淡灰色火山礫層灰岩	d&t	灰黒/淡黄灰	100	92	92	35.13m:傾斜角約50° 幅約0.5cmの筋状構造がある。 35.78m:傾斜角約50° 幅約0.2cmの筋状構造がある。
32			XXXXXX					100	90	100	
33			XXXXXX					100	91	91	37.29m:傾斜角約60° 幅約0.5cmの筋状構造がある。
34			XXXXXX					100	92	92	
35			XXXXXX					100	94	94	41.83m~41.90m:細粒凝灰岩が分布する。 41.84m:厚さ約1.6cmのS-10がある。
36			XXXXXX					100	96	96	
37			XXXXXX					100	95	95	43.13m~43.15m:細粒凝灰岩が分布する。
38			XXXXXX					100	93	93	
39			XXXXXX					100	52	91	43.83m~43.84m:岩片状~短柱状コアを主体とする。 43.84m:傾斜角約50°の層理があり、厚さ約0.5cmの白色物質を挟んで見える。節理周辺が幅約0.5cm~約1.0cmで褐色に見える。
40			XXXXXX					100	40	92	
41	41.33	-29.24	XXXXXX	鼻国間層 下部層	粗粒凝灰岩	c&t	灰	100	29	74	43.13m~43.15m:細粒凝灰岩が分布する。
42	41.83	-29.74	XXXXXX					100	17	62	
43	42.23	-30.14	XXXXXX		暗灰色火山礫層灰岩	d&t	灰黒/暗黄灰	100	17	62	54.14m~55.63m:岩片状~短柱状コアを主体とする。 54.46m:傾斜角約50°の層理があり、厚さ約0.5cmの白色物質を挟んで見える。節理周辺が幅約0.5cm~約1.0cmで褐色に見える。
44	42.70	-30.61	XXXXXX		粗粒凝灰岩	d&t	灰黒/暗黄灰	100	18	89	
45	43.13	-31.08	XXXXXX		粗粒凝灰岩	d&t	灰黒/暗黄灰	100	30	98	55.63m~64.84m:柱状コアを主体とする。
46	43.59	-31.54	XXXXXX		粗粒凝灰岩	d&t	灰黒/暗黄灰	100	26	88	
47	44.06	-32.01	XXXXXX		粗粒凝灰岩	d&t	灰黒/暗黄灰	100	50	81	55.63m~64.84m:柱状コアを主体とする。
48	44.52	-32.47	XXXXXX		粗粒凝灰岩	d&t	灰黒/暗黄灰	100	88	96	
49	44.99	-32.94	XXXXXX		粗粒凝灰岩	d&t	灰黒/暗黄灰	100	30	96	55.63m~64.84m:柱状コアを主体とする。
50	45.45	-33.40	XXXXXX		粗粒凝灰岩	d&t	灰黒/暗黄灰	100	68	98	
51	45.92	-33.87	XXXXXX		粗粒凝灰岩	d&t	灰黒/暗黄灰	100	40	92	55.63m~64.84m:柱状コアを主体とする。
52	46.38	-34.33	XXXXXX		粗粒凝灰岩	d&t	灰黒/暗黄灰	100	62	94	
53	46.85	-34.80	XXXXXX		粗粒凝灰岩	d&t	灰黒/暗黄灰	100	77	95	55.63m~64.84m:柱状コアを主体とする。
54	47.31	-35.26	XXXXXX		粗粒凝灰岩	d&t	灰黒/暗黄灰	100	41	91	
55	47.78	-35.73	XXXXXX		粗粒凝灰岩	d&t	灰黒/暗黄灰	100	68	95	55.63m~64.84m:柱状コアを主体とする。
56	48.24	-36.19	XXXXXX		粗粒凝灰岩	d&t	灰黒/暗黄灰	100	57	100	
57	48.71	-36.66	XXXXXX		粗粒凝灰岩	d&t	灰黒/暗黄灰	100	17	57	55.63m~64.84m:柱状コアを主体とする。
58	49.17	-37.12	XXXXXX		粗粒凝灰岩	d&t	灰黒/暗黄灰	100	45	73	
59	49.64	-37.59	XXXXXX		粗粒凝灰岩	d&t	灰黒/暗黄灰	100	24	78	55.63m~64.84m:柱状コアを主体とする。
60	50.10	-38.05	XXXXXX		粗粒凝灰岩	d&t	灰黒/暗黄灰	100	25	76	

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、41.30m~42.92mにやや細粒で成層構造が発達する部分が見られる(P.106のコア写真参照)。

3. 地質柱状図(47/57)

SB-031孔 深度0m~30m

孔名: SB-031		孔口標高: T.P.30.01m		掘削長: 130.00m (5 - 1)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
1	2.37	27.64		-	粗土	-	褐色/黄褐色	100	0	0	5.29m~11.86m: 風化土(砂)軟化LTC1-V5.
2	4.07	25.94		第四系	ロ-A 段丘堆積物	-	褐色	100	14	37	
3	5.29	24.72						100	8	0	
4								100	14	48	
5								100	13	60	
6								100	25	88	
7								100	20	96	
8								100	48	96	
9								100	34	95	
10								100	42	100	
11								100	42	100	
12								100	37	100	
13								100	41	97	
14								100	51	90	
15								100	39	100	
16								100	44	91	
17								100	52	92	
18								100	42	90	
19								100	64	100	
20								100	37	100	
21								100	40	90	
22								100	39	100	
23								100	53	100	
24								100	69	100	
25								100	37	91	
26								100	77	100	
27								100			
28								100			
29								100			
30								100			

基岩面層
上部層

褐色
火山礫灰岩

砂岩

灰黒/紫褐色

5.29m~11.86m: 風化土(砂)軟化LTC1-V5.

3. 地質柱状図(48/57)

SB-031孔 深度30m~60m

孔名: SB-031		孔口標高: T.P.30.01m		掘削長: 130.00m (5 - 2)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
31	52.41	-22.40	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	100	51	100	35.17m: 傾斜角約70° 幅約1.0cmの遊状構造がある。
32								100	65	100	
33			[Pattern]					100	59	96	
34			[Pattern]					100	22	91	
35			[Pattern]					100	29	90	
36			[Pattern]					100	93	93	
37			[Pattern]					100	46	93	
38			[Pattern]					100	36	100	
39			[Pattern]					100	48	91	
40			[Pattern]					100	57	100	
41			[Pattern]					100	39	100	
42			[Pattern]		赤灰色 火山礫凝灰岩	blt	灰黒/赤黄灰	100	60	100	
43			[Pattern]					100	90	100	
44			[Pattern]					100	50	100	
45			[Pattern]					100	93	93	
46			[Pattern]					100	35	95	
47			[Pattern]					100	52	100	
48			[Pattern]					100	46	100	
49			[Pattern]					100	31	100	
50			[Pattern]					100	27	100	
51			[Pattern]					100	34	100	
52	52.41	-22.40	[Pattern]					100	36	100	
53			[Pattern]					100	21	70	52.02m~52.06m: 細粒凝灰岩が分布する。 52.30m~52.41m: 細粒凝灰岩に赤灰色火山礫凝灰岩の互層が分布する。
54			[Pattern]					100	30	75	
55			[Pattern]					100	20	69	
56			[Pattern]					100	34	70	
57			[Pattern]					100	24	67	
58			[Pattern]					100	19	62	
59			[Pattern]					100	25	100	
60			[Pattern]					100	31	92	

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、43.70m~44.55m, 46.80m~47.60m, 48.45m~52.41m にやや細粒で成層構造が発達する部分が認められる。44.30m付近がLS-11層準(FT5-3)に相当する(P.108のコア写真参照)。

3. 地質柱状図(49/57)

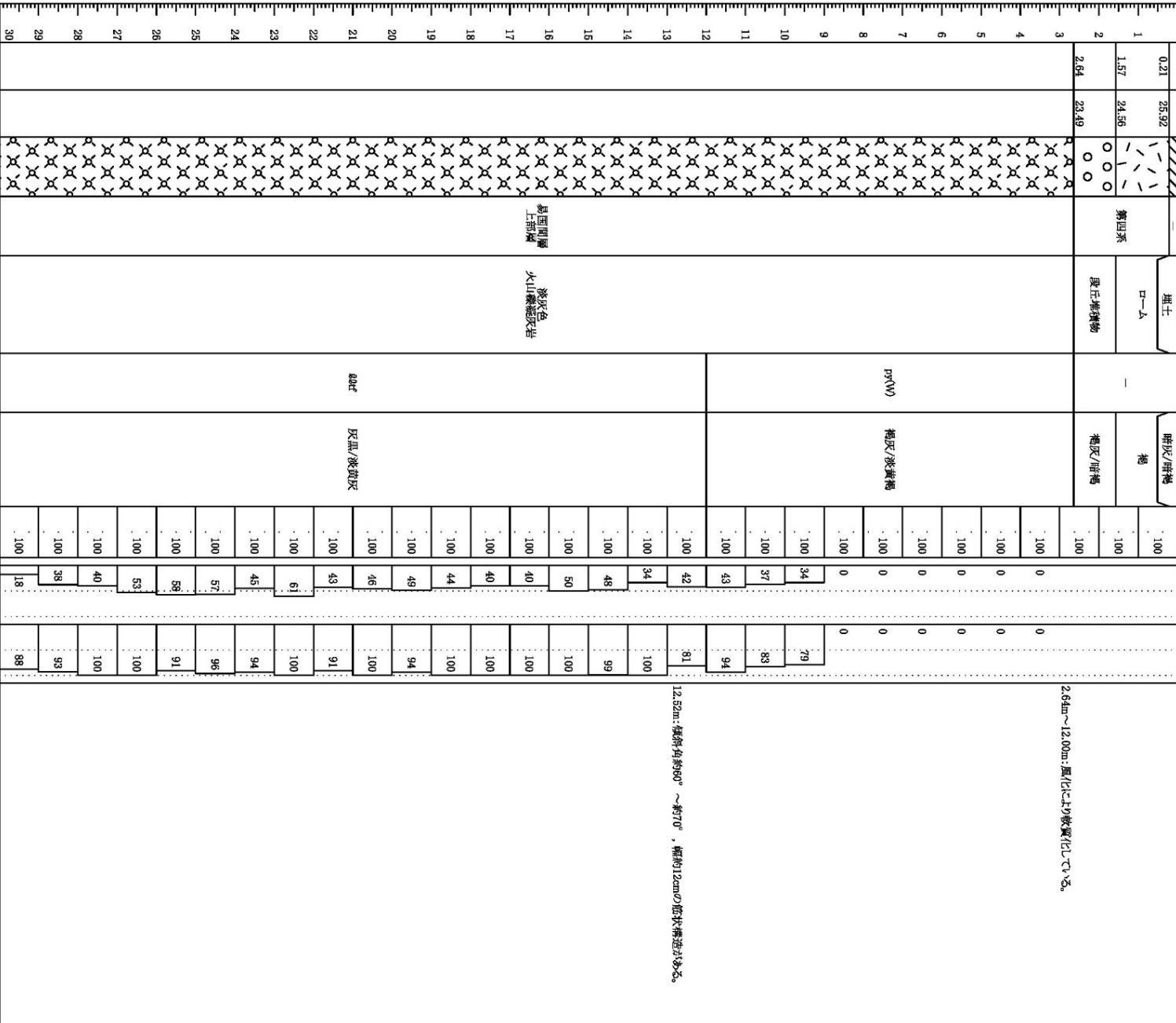
SB-031孔 深度60m~90m

孔名: SB-031		孔口標高: T.P.30.01m		掘削長: 130.00m (5 - 3)											
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事				
61			△△△△	異国層	凝灰角礫岩	tb	灰黒・褐黒/淡黄灰	100	37	100	63.19m~63.34m:細片状コア。				
62			△△△△					100	28	88					
63			△△△△					100	27	79					
64			△△△△					100	28	74					
65			△△△△					100	25	92					
66			△△△△					100	38	84					
67			△△△△					100	54	100					
68			△△△△					100	58	100					
69			△△△△					100	40	96					
70			△△△△					100	30	61					
71			△△△△	異国層	赤褐色 火山凝灰岩	dact	灰黒/淡黄灰	100	100	77.03m~78.04m:粗粒凝灰岩が分布する。 78.20m~78.34m:粗粒凝灰岩が分布する。 78.34m~78.35m:細粒凝灰岩が分布する。 78.35m:厚さ約1.5cmの「A」(S-10)がある。					
72			△△△△					100	62		92				
73			△△△△					100	46		92				
74			△△△△					100	100		100				
75			△△△△					100	28		100				
76			△△△△					100	49		91				
77			△△△△					100	33		100				
78			△△△△					100	16		54				
79			△△△△					異国層 下部層	暗灰色火山凝 灰岩/粗粒凝灰岩		dact/tst/cst	灰黒・ 暗黄灰・黄灰	100	23	77.03m~78.04m:粗粒凝灰岩が分布する。 78.20m~78.34m:粗粒凝灰岩が分布する。 78.34m~78.35m:細粒凝灰岩が分布する。 78.35m:厚さ約1.5cmの「A」(S-10)がある。
80			△△△△										100	33	
81			△△△△	100	55	100									
82			△△△△	100	48	92									
83			△△△△	100	44	100									
84			△△△△	100	69	100									
85			△△△△	100	48	100									
86			△△△△	100	25	37									
87			△△△△	100	28	48									
88			△△△△	100	38	77									
89			△△△△	100	29	96									
90			△△△△												

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、77.75m~78.78mにやや細粒で成層構造が発達する部分が認められる(P.109のコア写真参照)。

3. 地質柱状図 (50/57)

SB-032孔 深度0m~30m

標尺 (m)		深度 (m)		柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
30	29	2.64	23.49		第四系	埋土 ローム 風土堆積物	-	暗灰/暗褐 褐	100	0	0	
28	27	0.21	25.32		火山間層 上部層	漆灰色 火山礫凝灰岩	砂岩 砂質泥岩	暗灰/暗褐 褐	100	0	0	
26	25	1.57	24.56						100	34	79	
24	23								100	37	83	
22	21								100	43	94	
20	19								100	42	81	
18	17								100	48	99	
16	15								100	50	100	
14	13								100	40	100	
12	11								100	44	100	
10	9								100	46	100	
8	7								100	49	94	
6	5								100	61	100	
4	3								100	45	94	
2	1								100	57	96	
0	0								100	58	91	
									100	53	100	
									100	40	100	
									100	38	93	
									100	18	88	

孔名: SB-032

孔口標高: T.P.26.13m

掘削長: 327.00m

(11 - 1)

3. 地質柱状図(51/57)

SB-032孔 深度30m~60m

孔名: SB-032		孔口標高: T.P.26.13m		掘削長: 327.00m		(11 - 2)					
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
31			[Columnar diagram showing soil and rock patterns]	暴風被害上部層	火山噴出物凝灰岩	00uf	灰黒/淡黄灰	100	47	91	37.78m~37.96m: 岩片状コア。
32		100						37	93		
33		100						34	98		
34		100						61	100		
35		100						41	94		
36		100						35	96		
37		100						43	97		
38		100						29	71		
39		100						43	100		
40		100						73	100		
41		100	53	100	42.80m~42.82m: 粗粒分を含む細粒凝灰岩がレンズ状に分布する。						
42		100	62	100							
43		100	38	100							
44		100	56	92							
45		100	62	100							
46		100	40	100							
47		100	87	100							
48		100	53	100							
49		100	36	84							
50		100	24	79							
51		100	35	84	51.34m~52.42m: 細粒凝灰岩が分布する。 51.38m: 厚さ約0.6cmのシミムがある。						
52		100	61	100							
53		100	50	88	凝粒凝灰岩 火山噴出物凝灰岩 凝粒凝灰岩 粗粒凝灰岩						
54		100	31	93							
55		100	64	97							
56		100	46	100							
57		100	37	100							
58		100	40	94							
59		100	32	92							
60		100	32	92							

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、42.40m~43.15m、50.30m~51.42mにやや細粒で成層構造が発達する部分が認められる。42.81m付近がビーナス-11層準(FT5-3)に相当する(P.111のコア写真参照)。

3. 地質柱状図(52/57)

SB-032孔 深度60m~90m

孔名: SB-032		孔口標高: T.P.26.13m		掘削長: 327.00m		(11 - 3)					
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
61			△△△△	易固間層 上部層	凝灰角礫岩	tb	灰黒・灰・粗灰 / 淡黄灰	100	43	100	75.79m: 傾斜角約90°~約65°の断層(±3)がある。断層幅は約10cmであるが、その内断層は両辺岩盤より強固固結している。
62			△△△△					100	46	90	
63			△△△△					100	55	99	
64			△△△△					100	78	100	
65	65.37	-39.24	△△△△					100	46	92	
66			△△△△					100	84	100	
67			△△△△					100	62	100	
68			△△△△					100	100	100	
69			△△△△					100	62	98	
70			△△△△					100	56	92	
71			△△△△	100	58	95					
72			△△△△	100	70	93					
73			△△△△	100	38	100					
74			△△△△	100	64	86					
75			△△△△	100	49	100					
76			△△△△	100	59	92					
77			△△△△	100	27	92					
78			△△△△	100	43	99					
79			△△△△	100	100	100					
80			△△△△	100	45	95					
81			△△△△	100	63	78					
82	81.93	-55.80	△△△△	100	24	84					
	82.26	-56.13	△△△△	100	27	90					
83			△△△△	100	42	77					
84			△△△△	100	70	81					
85			△△△△	100	54	96					
86			△△△△	100	26	87					
87			△△△△	100	38	100					
88			△△△△	100	25	62					
89			△△△△								
90			△△△△								

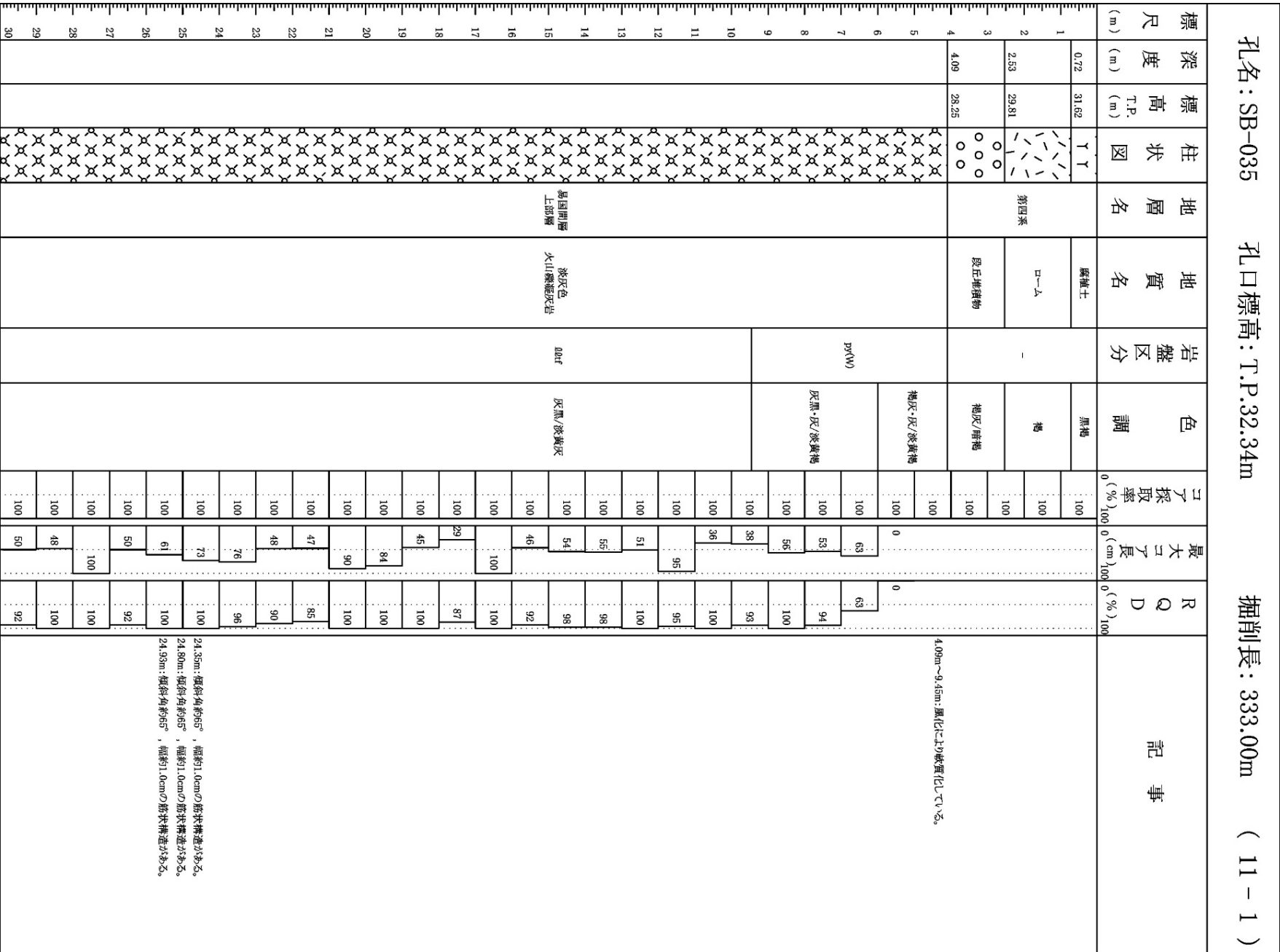
(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、80.80m~82.26mにやや細粒で成層構造が発達する部分が認められる(P.112のコア写真参照)。

81.76m~81.93m: 粗粒凝灰岩が分布する。
81.93m~81.98m: 粗粒凝灰岩が分布する。
81.94m: 厚さ約3.5cmのレンズ(±10)がある。

85.53m~85.56m: 傾斜角約60° 幅約2.0cmの断層構造がある。見掛けの断層変位量は不明、密着している。

3. 地質柱状図(53/57)

SB-035孔 深度0m~30m



孔名: SB-035 孔口標高: T.P.32.34m 掘削長: 333.00m (11-1)

(注) 28.31m付近がズームS-11層準(FT5-3)に相当する(P.113のコア写真参照)。

24.35m:傾斜角約65°, 幅約1.0cmの筋状構造がある。
24.80m:傾斜角約65°, 幅約1.0cmの筋状構造がある。
24.93m:傾斜角約65°, 幅約1.0cmの筋状構造がある。

3. 地質柱状図(54/57)

SB-035孔 深度30m~60m

孔名：SB-035		孔口標高：T.P.32.34m		掘削長：333.00m		(11 - 2)					
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	子採取率 (%)	最大子長 (cm)	RQD (%)	記事
31	36.98	-14.64			淡灰色 火山礫凝灰岩	00uf	灰黒・薄灰 /淡黄灰	100	100	100	33.89m~36.98m: 凝灰凝灰岩が粗粒凝灰岩の互層が分布する。
32								100	57	100	
33								100	76	100	
34								100	74	92	
35								100	57	100	
36								100	52	100	
37								100	39	98	
38								100	73	100	
39								100	64	96	
40								100	68	93	
41	46.36	-14.02			凝灰角礫岩	tb	灰黒・薄灰 /淡黄灰	100	38	93	
42								100	53	100	
43								100	72	100	
44								100	90	100	
45								100	55	99	
46								100	89	99	
47								100	62	98	
48								100	81	100	
49								100	63	100	
50								100	57	96	
51	易湿間層 上部層				淡灰色 火山礫凝灰岩	00uf	灰黒・淡黄灰	100	64	100	
52								100	60	100	
53								100	59	100	
54								100	78	100	
55								100	100	100	
56								100	91	91	
57								100	69	100	
58								100	90	100	
59								100	83	100	
60								100	83	100	

注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、31.00m~32.20m、34.40m~36.98m、59.40m~60.92m にやや細粒で成層構造が発達する部分が認められる(P.114、115のコマ写真参照)。

3. 地質柱状図(56/57)

SB-037孔 深度0m~30m

標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
1	1.10	23.72		-	埋土	-	暗灰/褐灰	100	0	0	1.10m~12.25m:風化により軟質化している。
2								100	0	0	
3								100	0	0	
4								100	0	0	
5								100	0	0	
6								100	0	0	
7								100	0	0	
8								100	0	0	
9								100	0	0	
10								100	20	53	
11				易国閉層 上部層	淡灰色 火山礫凝灰岩	pr(V)	灰黒/淡黄褐	100	27	27	
12								100	61	61	
13								100	21	79	
14								100	35	98	
15								100	50	87	
16								100	38	94	
17								100	55	88	
18								100	49	96	
19								100	59	100	
20	20.21	4.61						100	36	92	
21								100	36	88	
22								100	49	94	
23								100	49	88	
24								100	35	91	
25					凝灰角礫岩	tb	灰黒 ・褐灰/淡黄灰	100	46	100	
26								100	57	97	
27								100	32	100	
28								100	49	87	
29	29.23	-4.41			淡灰色 火山礫凝灰岩	qtzf	灰黒/淡黄灰	100	57	100	
30								100	57	100	

孔名: SB-037

孔口標高: T.P.24.82m

掘削長: 150.00m

(5-1)

注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、12.25m~20.21mにやや細粒で成層構造が発達する部分がある。12.25m付近が「S-11層準(F15-3)」に相当する(P.116のコア写真参照)。

19.50m~19.61m:細粒凝灰岩を厚さ約0.1cm~約0.5cmで層状・レンズ状に薄数含む。
20.13m~20.21m:細粒凝灰岩が分布する。

15.84m~15.98m:粗粒凝灰岩が分布する。
16.33m~16.44m:粗粒凝灰岩が分布する。

3. 地質柱状図(57/57)

SB-037孔 深度30m~60m

標尺 深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状 図	地層 名	地質 名	岩盤 区分	色 調	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	記 事				
31	41.57	△△△△	馬国間層 上部層	淡灰色 火山礫凝灰岩	dntf	灰黒/微黄灰	100	50	89					
32	42.15	△△△△					100	79	94					
33	42.44	△△△△	馬国間層 下部層	火山岩溶岩 (角礫状)	bbv	灰黒/暗黄灰	100	50	100					
34	42.71	△△△△					100	83	100					
35	41.82	△△△△					100	59	100					
36	42.15	△△△△					100	54	100					
37	42.44	△△△△					100	71	93					
38	41.82	△△△△					100	66	92					
39	42.15	△△△△					100	82	94					
40	42.44	△△△△					細粒凝灰岩 粗粒凝灰岩/暗灰 色火山礫凝灰岩/ 粗粒凝灰岩 粗粒凝灰岩 粗粒凝灰岩 暗灰色 火山礫凝灰岩/ 粗粒凝灰岩 安山岩溶岩 (角礫状)	ctf ctf dntf/ctf nt nt dntf/ctf bbv	灰 灰黒/ 黄灰-暗黄灰-暗灰 黄灰 暗灰 灰黒/暗黄灰 暗黄灰-暗灰 灰黒/暗黄灰		100	82	62	41.82m~41.89m:細粒凝灰岩が分布する。 41.89m:厚さ約2.4cmのゾーンA(S-10)がある。 42.17m~42.28m:粗粒凝灰岩が分布する。 44.00m~52.45m:短柱状~岩片状コアを主体とする。
41	41.82	△△△△									100	50	62	
42	42.15	△△△△									100	30	89	
43	42.44	△△△△									100	17	57	
44	44.00	△△△△									100	12	22	
45	-	△△△△									100	14	27	
46	-	△△△△	100	19	59									
47	-	△△△△	100	20	54									
48	-	△△△△	100	22	54									
49	-	△△△△	100	22	50									
50	-	△△△△	100	24	46									
51	-	△△△△	100	21	61									
52	-27.63	△△△△	100	35	77									
53	52.46	△△△△		mbv(0)	暗灰-灰	100	33	64	53.08m~53.12m:細粒凝灰岩をフロック状に含む。 53.78m~53.85m:細粒凝灰岩をフロック状~レンズ状に含む。 54.20m:厚さ約1.0cmの細粒凝灰岩が分布する。 54.50m~54.80m:細粒凝灰岩をフロック状~レンズ状に含む。 55.35m~55.51m:細粒凝灰岩をフロック状に含む。					
54	-	△△△△				100	73	100						
55	-	△△△△				100	54	92						
56	-	△△△△				100	33	94						
57	-	△△△△				100	44	81						
58	-	△△△△				100	64	98						
59	-	△△△△				100	64	64						
60	-	△△△△				100	64	64						

注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、41.55m~42.55mにやや細粒で成層構造が発達する部分か認められる(P.117のコ写真参照)。

孔名: SB-037

孔口標高: T.P.24.82m

掘削長: 150.00m (5 - 2)